

教育なよろ

平成 2 3 年 度



— ピヤシリ大学との交流（豊西小学校） —
平成 2 2 年 1 1 月 2 9 日

名 寄 市 教 育 委 員 会



市章

名寄市の英頭文字「N」をモチーフに、合併する風連町と名寄市の住民が、溢れる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせ創り上げ発展していく様子を表現しています
(平成 18 年 3 月 27 日制定)

名寄市民憲章

私たちは、秀峰ピヤシリを望み、天塩川の恵みに育まれた美しい緑と樹氷きらめくまち、名寄の市民です。厳しい風雪に耐え抜いた開拓者精神を受けつぎ、郷土を愛する心を大切にしながら明るく、生き生きとした名寄市の発展に努めます。

じぶん ほこ せきにん
自分のまちに誇りと責任をもち、

みなで話し合いながら、

す
住みよいまちをつくります。

けんこう たいせつ
からだとこころの健康を大切にし、

たが あたた おも
互いに 温かい思いやりをもって、

あんしん く
安心して暮らせるまちをつくります。

ゆた しぜん まも そだ
豊かな自然を守り育て、

しぜん ちょうわ く かんきょう
自然と調和した暮らしの環境をととのえ、

かいてき
快適でうるおいのあるまちをつくります。

たの はたら そうぞうりよく はつき
楽しく働き、創造力を発揮し、

ゆた く ほこ
豊かな暮らしを誇れる

かつりよく み
活力に満ちたまちをつくります。

ちせい かんせい
知性と感性をみがき、

ゆた ひと かお たか ぶんか はぐく
こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、

きぼう かがや
希望に輝くまちをつくります。

(平成 19 年 2 月 26 日制定)

【名寄市のシンボル】(平成 18 年 7 月 25 日制定)

市の木

「シラカバ」



市の花

「オオバナノエンレイソウ」



市の鳥

「アカゲラ」



目次

名寄市の概況

I 教育行財政

- i. 名寄市教育目標 ----- 1
- ii. 教育委員会 ----- 2
- iii. 名寄市の教育財政 ----- 5

II 学校教育

- i. 名寄市学校教育の基本方針 ----- 8
- ii. 平成 23 年度名寄市学校教育推進の重点 ----- 9
- iii. 市内小中学校の概要 ----- 13
- iv. 幼稚園教育の状況 ----- 15
- v. 学校給食センター ----- 16
- vi. 名寄市立大学 ----- 19
- vii. 就学の助成 ----- 22
- viii. 各種助成制度 ----- 25
- ix. 名寄市教育研究所 ----- 26
- x. その他学校一覧 ----- 28

III 社会教育

- i. 平成 23 年度社会教育推進の重点 ----- 29
- ii. 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画 ----- 30
- iii. 風連地区生涯学習・
名寄市風連公民館の事業計画 ----- 36
- iv. 名寄市智恵文公民館の事業計画 ----- 40
- v. 生涯学習課・スポーツ振興事業計画 ----- 42
- vi. 市内体育施設 ----- 48
- vii. 名寄市児童センター ----- 52
- viii. 名寄市青少年センター ----- 55
- ix. 名寄市教育相談センター ----- 56
- x. 名寄市北国博物館 ----- 57
- xi. 市立名寄図書館 ----- 61
- xii. 市立天文台 ----- 63

IV 資料

- i. 審議会・委員会 ----- 65
- ii. 旧名寄市教育の沿革 ----- 68
- iii. 旧風連町教育の沿革 ----- 75
- iv. 名寄市教育の沿革 ----- 79

名寄市の概況

1 位置・地勢

名寄市は、北・北海道の長流天塩川が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東は雄武町と下川町、西は幌加内町、南は士別市、北は美深町と接しています。その市域は、東西に約30km、南北に35kmの四角形に近い形となっており、535.23km²の行政面積を有しています。

道路は南北に国道40号、東側に国道239号が通り、また鉄道は南北に宗谷本線が走っており、古くから交通の要衝として幅広い生活圏域を形成した本市は、道北圏の中心都市として発展してきました。

気候は、日本海気象の影響を受ける内陸部に属していることから寒暖の差が激しく、夏冬の温度差は60℃にも及びます。夏季は昼夜の温度差が大きく、冬季は寒気が厳しく降雪量も多い気象条件を有しています。



2 沿革

風連地域は、明治32年、旧村名「多寄町」の名称のもとに剣淵村外3カ村戸長役場の管轄に入ったことにはじまり、風連村を経て昭和28年の町制施行で風連町になりました。

名寄地域は、明治33年、山形県東田川郡東栄村（藤島町を経て鶴岡市）の有志により曙地区に開拓の鋤が下ろされて以来、上名寄村、名寄町を経て、昭和29年に旧智恵文村と合併後、昭和31年に北海道内21番目の市として市制を施行しています。

こうした中で、古くから地理的・人的つながりの深かった両市町は、人的・財政的基盤を強化する必要の高まりを背景に、平成18年3月27日に新設合併して「名寄市」が誕生しました。

3 人口と世帯数

平成23年6月末日現在 人口 30,187人 世帯数 14,553世帯

i 名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は 郷土の歴史と文化を継承し 国際化の時代をしなやかにたくましく生き ともに支え合
い うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

(制定 平成19年4月1日)

ii 教 育 委 員 会

1 教育委員



委員長 梅野 博



委員長職務代理者 志水 貴江



委員 松田 潤子



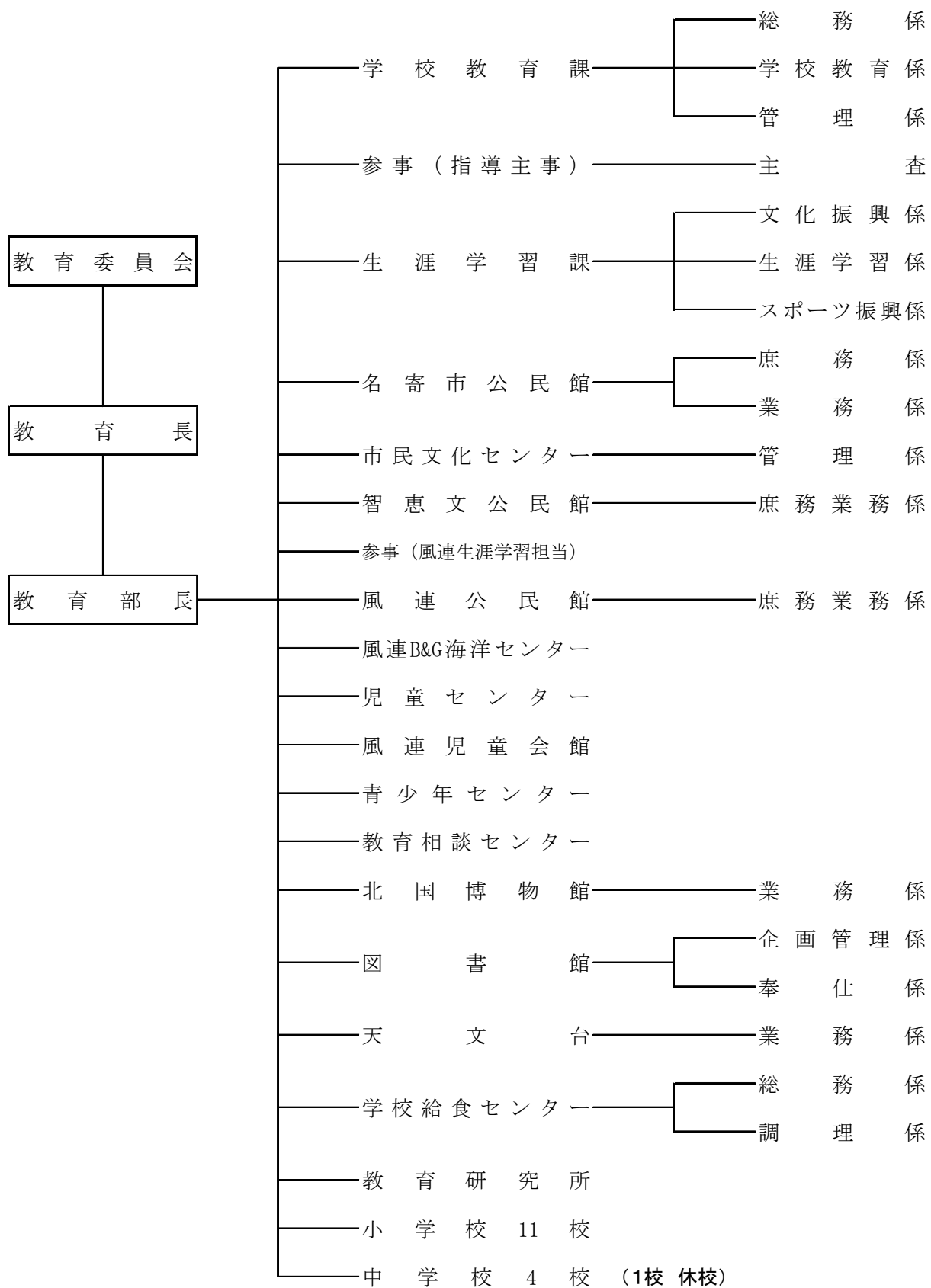
委員 中尾 公一



教育長 小野 浩一

	氏 名	委員就任年月日	住 所
委員長	梅 野 博	平成12年10月1日	名 寄 市 西 1 条 北 1 丁 目
委 員	志 水 貴 江	平成19年5月16日	名 寄 市 大 通 南 6 丁 目
委 員	松 田 潤 子	平成20年5月16日	名 寄 市 風 連 町 字 中 央 553-1
委 員	中 尾 公 一	平成21年5月16日	名 寄 市 風 連 町 本 町 68 番 地
教育長	小 野 浩 一	平成23年7月1日	名 寄 市 西 10 条 南 10 丁 目 53 番 地 48 シ テ ィ ハ イ ム AYA201

2 行政組織



3 名寄市教育委員会職員数

(平成23年5月1日現在)

	教 育 部 長	台 課 長・ 館長・ 参事・ 所長・ 主幹・	社 教 主 事	係 長 ・ 主 査	主 任	事 務 職 員	技 術 職 員	栄 養 士	教 育 職 員	嘱 託 臨 時	計
	1										1
学 校 教 育 課		2		3	2	3	2		2	26	40
参事（指導主事）		1		(2)							1(2)
生 涯 学 習 課		1	(1)	3		7	1			2	14(1)
名 寄 市 公 民 館		(1)		(3)		(6)					(10)
市民文化センター		(1)		(1)		(2)					(4)
智 恵 文 公 民 館		(1)		(1)						1	1(2)
参事（生涯学習担当）		1	(1)	1		(1)	(1)			10(1)	12(4)
風 連 公 民 館		(1)		(1)		(1)	(1)				(4)
児 童 セ ン タ ー		2								9	11
風 連 児 童 会 館		(2)								6	6(2)
青 少 年 セ ン タ ー		(2)								1	1(2)
教育相談センター		(2)								4	4(2)
北 国 博 物 館		1		1		1				5	8
図 書 館		1		2	1					13	17
天 文 台		1		1		2				2	6
学校給食センター		1		2				道(2)		29	32(2)
教 育 研 究 所		(4)							(224)		(228)
計	1	11(14)	(2)	13(8)	3	13(10)	3(2)	道(2)	2(224)	108(1)	145(273)

※（ ）＝併任・兼務者数

iii 名寄市の教育財政（平成23年度）

1 一般会計予算

【歳入】

（単位：千円）

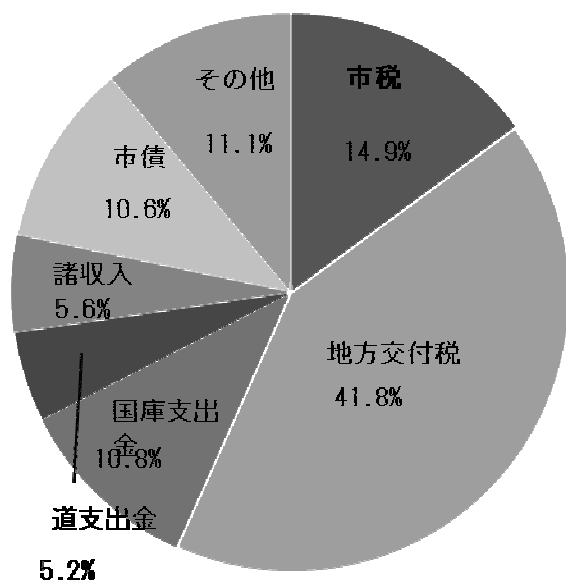
区 分	当初予算額	構成比
市税	2,992,950	14.9%
地方交付税	8,400,000	41.8%
国庫支出金	2,164,903	10.8%
道支出金	1,047,377	5.2%
諸収入	1,120,107	5.6%
市債	2,128,200	10.6%
その他	2,237,775	11.1%
計	20,091,312	100.0%

【歳出】

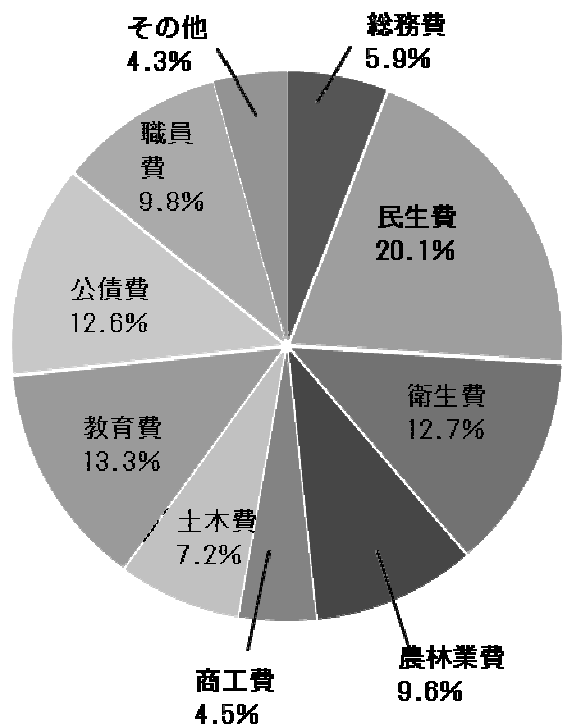
（単位：千円）

区 分	当初予算額	構成比
総務費	1,181,758	5.9%
民生費	4,036,908	20.1%
衛生費	2,548,475	12.7%
農林業費	1,917,308	9.6%
商工費	893,946	4.5%
土木費	1,446,854	7.2%
教育費	2,676,016	13.3%
公債費	2,523,613	12.6%
職員費	2,003,644	9.8%
その他	862,790	4.3%
計	20,091,312	100.0%

※歳入グラフ



※歳出グラフ



2 教育費の内訳

【歳入】

(単位：千円)

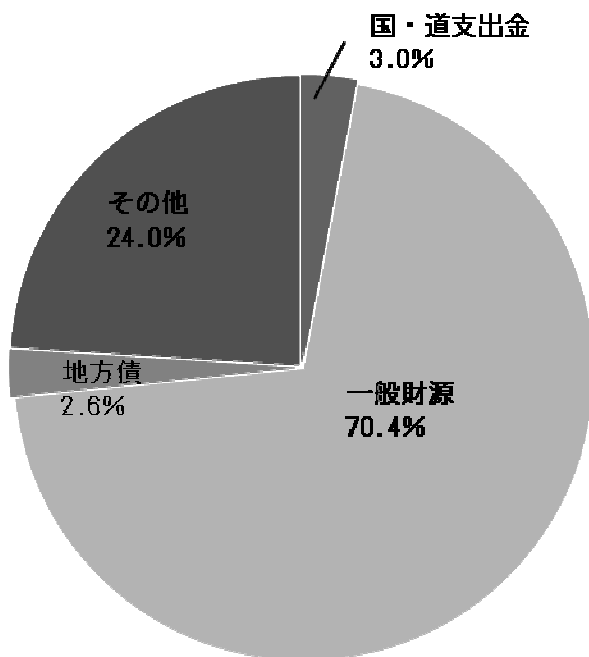
区 分	当初予算額	構成比
国・道支出金	81,102	3.0%
一般財源	1,884,259	70.4%
地方債	67,800	2.6%
その他	642,855	24.0%
計	2,676,016	100.0%

【歳出】

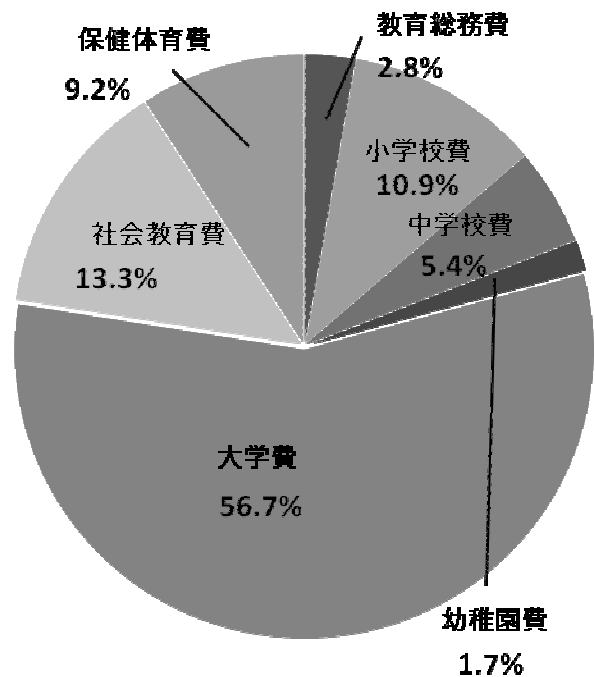
(単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
教育総務費	75,040	2.8%
小学校費	292,694	10.9%
中学校費	144,423	5.4%
幼稚園費	46,069	1.7%
大学費	1,517,022	56.7%
社会教育費	355,380	13.3%
保健体育費	245,388	9.2%
計	2,676,016	100.0%

※歳入グラフ



※歳出グラフ



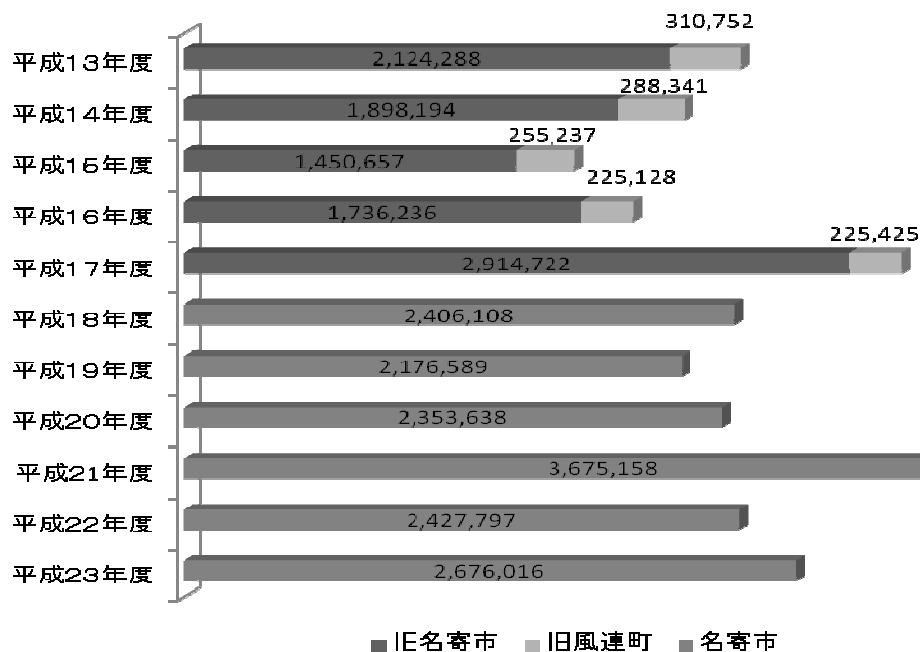
3 教育費予算

(単位：千円)

科 目	(a) 平成 23 年度 当初予算額	(b) 平成 22 年度 当初予算額	(c) 比較増減 (a) - (b)	(d) 対前年比 (c) ÷ (b) × 100
教育費	2,676,016	2,427,797	248,219	10.2
教育総務費	75,040	76,436	△ 1,396	△ 1.8
小学校費	292,694	260,439	32,255	12.4
中学校費	144,423	251,352	△ 106,929	△ 42.5
幼稚園費	46,069	39,554	6,515	16.5
大学費	1,517,022	1,351,871	165,151	12.2
社会教育費	355,380	213,195	142,185	66.7
保健体育費	245,388	234,950	10,438	4.4

4 教育費の推移（大学費以外の職員費を除く）

(単位：千円)



i 名寄市学校教育の基本方針

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

1 学校の自主性・自律性の確立

- (1) 地域に根ざした開かれた学校づくりの推進
- (2) 特色ある教育課程の編成・実施
- (3) 保護者や地域に信頼される学校経営の推進

2 自ら学び、自ら考える力の育成

- (1) 基礎・基本の定着と個に応じた指導の充実
- (2) 自然体験、社会体験に基づいた課題解決学習の推進
- (3) 総合的な学習の時間の充実

3 地域文化の創造と国際理解教育の推進

- (1) 名寄の芸術文化伝統の理解と尊重
- (2) 創作活動の充実
- (3) 諸外国の芸術文化の理解と国際交流の推進

4 体育・スポーツの振興とたくましい心身の育成

- (1) 基礎体力の向上を目指したスポーツの振興
- (2) 豊かな体験や道徳教育等に基づく心の健康の維持
- (3) 他を思いやり自らを守る健康安全教育の推進

5 専門性を培う研修活動の深化

- (1) 全教職員による教育諸活動についての効果的な共同研修の推進
- (2) 一人ひとりの課題意識に基づいた個人研修の充実
- (3) 各種研修会・研究会への積極的な参加と還流

ii 平成23年度 名寄市学校教育推進の重点

1 学校経営

- (1) 学校の自主性・自律性を発揮し、時代の要請に応える創意に富む学校経営の充実に努める。
- (2) 学校評議員制度の充実に努めるなど、学校と家庭、地域社会との連携をより深め、期待と信頼に応える開かれた学校づくりに努める。
- (3) 教職員の特性を生かした校務分掌を組織し、学校職員評価を機能させながら教育目標を効果的に達成する学校経営の推進に努める。
- (4) 学校評価を効果的に生かすことで教育の今日的課題を的確に受けとめ、その課題解決を図り、活力ある学校経営の充実に努める。
- (5) なよろ市立天文台など優れた地域教材や人材などを活用し、特色ある教育活動の推進に努める。
- (6) 姉妹都市や近隣諸国との国際交流の促進、ALTやネイティブスピーカーの活用を図るなどして、国際理解と豊かな地域文化の創造を促す教育活動の推進に努める。
- (7) 図書館や読み聞かせボランティアの活用等を通して、読書や家庭学習の定着を図り、豊かな心の育成と規則正しい生活習慣づくりに努める。

2 教育課程

- (1) 学校教育目標の具現化を図るため、改定された学習指導要領を踏まえ、教育課程の効果的な編成・改善に努める。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得や活用、小中連携教育など、創意ある教育活動の推進に努める。
- (3) 一人ひとりの能力・適性等に応じた個性を生かす教育活動の充実に努める。
- (4) PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）など、総合的で適切な評価に基づく教育課程の改善に努める。

3 研修活動

- (1) 教育の今日的課題を踏まえ、名寄市教育研究所の機能を生かし、小中学校が一体となった研修を深める。
- (2) 教職員一人ひとりの考えが生かされた組織体制の確立と、学校の特性を生かした校内研修の充実に努める。
- (3) 教職員の専門性や指導力を高めるため、各種研修会への参加など、教職経験に応じた個人研修の充実に努める。

4 学習指導

- (1) 児童生徒の興味・関心、能力・適性等を的確に把握し、一人ひとりのよさや可能性を積極的に生かす指導計画の作成に努める。
- (2) 児童生徒が、自ら学び自ら考える力を育成するため、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得とその活用を図り、主体的に学ぶ意欲の育成に努める。
- (3) 自分や友達のよさを認め合い、高め合うことのできる学習形態、また教師の特性を生かす指導

形態の工夫に努める。

- (4) 確かな学びを促すため、評価規準を取り入れ、指導と評価の一体化に努める。
- (5) 外国語活動を通じて、言語や文化についての理解を深めるとともに、指導の工夫を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成に努める。

5 道徳教育

- (1) 全教職員の共通理解に基づき、自校の指導方針を明確にした全体計画や年間指導計画の作成と指導体制の確立に努める。
- (2) 児童生徒の実態を的確に把握し、道徳的实践力を高める「道徳の時間」の指導と充実に努める。
- (3) ボランティア活動や自然体験活動、幅広い読書活動等を通して、人間や自然に対する思いやりの心を育むとともに道徳的实践力を高める指導の充実に努める。
- (4) 「心のノート」など児童生徒の発達の段階や実態に応じた資料を活用し、効果的な指導に努める。

6 特別活動

- (1) 各教科・道徳・総合的な学習の時間との調和や内容相互の関連を図った全体計画と指導計画の整備・充実に努める。
- (2) 学校や児童生徒の実態に即して題材を設定し指導のねらいを明確にした、健全な生活態度を育てる学級活動の充実に努める。
- (3) 自主的・自発的な活動を促す児童会・生徒会活動、クラブ活動や部活動、その他の教科外活動において児童生徒自らが意欲的に参加する効果的な指導体制の確立に努める。
- (4) 全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への帰属感を深める学校行事の創意工夫に努める。

7 総合的な学習の時間

- (1) 自校としての目標を設定し、学校や地域、児童生徒の実態に応じて創意工夫を生かした指導計画の作成に努める。
- (2) 地域の教育環境を生かした体験的・問題解決的な活動を通して、探究的な学習の推進に努める。
- (3) 児童生徒の自己評価や相互評価などを生かして、意欲や進歩の状況を把握するとともに、主体的、創造的、協同的に取り組む学習の工夫に努める。

8 生徒指導

- (1) 生徒指導連絡協議会などとの連携を密にし、児童生徒の悩みや問題行動の早期発見と早期指導を図り、一人ひとりの心をとらえた生徒指導の推進に努める。特に、いじめと不登校又、携帯電話等情報機器の光と陰についての指導に迅速・適切に対応するため校内体制を確立し組織的対応に努める。
- (2) 様々な体験学習を通して豊かな心を育むとともに、教育相談や事例研修等を通して、望ましい人間関係を基調とした自己理解と自己実現を促す指導に努める。
- (3) 家庭や地域、サポートチームなどの関係機関との連携強化や協力体制の確立を図り、地域ぐるみで児童生徒の健全育成に努める。

9 体育・健康安全指導

- (1) 生涯スポーツの観点に立ち、スキーやカーリングの振興など、地域環境を生かした体育活動を日常的に取り入れ、基礎体力の向上に努める。
- (2) 発達段階に即し指導内容を明確にした性教育や大麻等の薬物乱用防止に関する指導の徹底に努めるとともに、給食活動等を通して正しい食生活の習慣化を図るなど、食育の充実に努める。
- (3) 学校における適切な環境衛生を保持し、シックスクール症候群や感染症予防に対する意識を高めるなど、児童生徒の健康保持増進に努める。

10 危機管理

- (1) 生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る態度能力を身につけさせる安全指導の充実に努めるとともに、家庭や地域社会と一体となった事故の未然防止体制の確立に努める。
- (2) 教職員の危機管理意識を高めるとともに、組織体制の確立と機能の充実を図り、危機管理マニュアルや安全マップの充実、登下校時の通学路における児童生徒の安全確保などに努める。

11 へき地・複式教育

- (1) 地域と一体となった学習環境の工夫や体験的活動を通して、児童生徒一人ひとりが、もち味を発揮し、学ぶ意欲を高める効果的な指導の工夫に努める。
- (2) 創造性や社会性の伸長のため、集合学習や交流学习等の促進と、他校との研修の共同化及び校内研修の充実に努める。
- (3) 地域環境の活用や複式・小規模校の特性に応じた指導計画の工夫と、評価結果を活かした改善や充実に努める。

12 特別支援教育

- (1) 就学指導委員会の効果的な運営に努めるとともに関係機関との密接な連携を図り、就学指導及び中学校における進路指導の充実に努める。
- (2) 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していく特別支援教育の推進に向け、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内における推進体制の充実に努める。
- (3) LDやADHD、高機能自閉症など困り感のある児童生徒への教育支援の充実に向け、関係機関、保護者と連携しながら、個に応じた指導目標や内容、指導方法、指導体制の工夫に努める。

13 通学区域の弾力化

小規模校における通学区域外の就学制度（バリアフリースクール）を設け、豊かな自然環境に恵まれた本市の郊外小規模校において基幹産業を活用した特色ある学習活動を体得し、より豊かな心とたくましい身体を育てることに努める。

中名寄小学校	: 各学年 8名以内 (通常の通学区内通学者を含む)
智恵文小学校	: 各学年10名以内 (")
智恵文中学校	: 各学年20名以内 (")
東風連小学校	: 各学年 8名以内 (")
風連日進小学校	: 各学年 8名以内 (")

名寄市学校教育の推進計画

【市 民 憲 章】	
・自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくります。 ・からだとこころの健康を大切にし、互いに温かい思いやりをもって、安心して暮らせるまちをつくります。 ・豊かな自然を守り育て、自然と調和した暮らしの環境をととのえ、快適でうるおいのあるまちをつくります。 ・楽しく働き、創造力を発揮し、豊かな暮らしを誇れる活に満ちたまちをつくります。 ・知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくります。	

【基 本 方 針】	
生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。 1 学校の自主性・自律性の確立 2 自ら学び、自ら考える力の育成 3 地域文化の創造と国際理解教育の推進 4 体育・スポーツの振興とたくましい心身の育成 5 専門性を培う研修活動の深化	

【名寄市教育目標】	
1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます	

【 学 校 経 営 の 重 点 】	
創意に富み、活力ある学校経営 ・ 自主性・自律性の発揮 ・開かれた学校づくり ・ 豊かな心を育む教育の推進 ・国際理解教育の推進 ・ 学校評価の創意工夫 ・危機管理意識の高揚	

【 学 校 教 育 推 進 の 重 点 】									
教育課程	研修活動	学習指導	道徳教育	特別活動	総合的学習の時間	生徒指導	体育・安全指導	危機管理	へき地・複式教育
・ 効果的な編成・実施 ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用 ・ 個性の伸長視 ・ 適切な評価改善 ・ 小中連携教育	・ 研究所の一層の機能化 ・ 小中の連携に基づいた校内研修の充実 ・ 教職経験に応じた個人研修の充実	・ 一人ひとりの良さや可能性の発見と伸長 ・ 主体的に学ぶ意欲の育成 ・ 指導形態の工夫 ・ 指導と評価の一体化	・ 指導計画・指導体制の確立 ・ 児童生徒の実践力 ・ 「心のノート」の活用	・ 各教科等の調和を図る指導計画 ・ 学級活動の充実 ・ 児童会・生徒会、クラブ活動等の充実 ・ 学校行事の創意工夫	・ 自校独自の計画立案 ・ 体験活動や地域を生かす探究的な学習の充実 ・ 評価を生かす学習の工夫	・ 問題行動の早期発見・早期指導 ・ 自己理解・自己実現を促す指導の充実 ・ 関係機関との連携 ・ 生徒指導連絡協議会	・ 基礎体力の向上 ・ 保健指導・食育の充実 ・ シックススクール症候群に対する予防措置 ・ 大麻等薬物乱用防止の徹底	・ 安全指導の充実 ・ 事故の未然防止体制の確立 ・ 組織体制の確立と機能の充実 ・ 危機管理マニュアルと安全マップの充実	・ へき地・複式教育 ・ 地域を生かす指導の工夫 ・ 集合学習や交流学習の促進 ・ 少人数の特性を生かす指導の充実
									通学区域の弾力化 ・ 郊外小規模校における通学区域外就学制度の弾力化

iii 市内小中学校の概要

1 市内小学校一覧

(平成23年5月1日現在)

学 校 名	校 長 名	所 在 地	電話・FAX番号	児童数		学級数	教員数	養 護	栄 養	事 務
名 寄 小 学 校	寺口 悟	西1条南1丁目2番地	01654-3-3304 01654-3-3305	特学 普通	11 241	5 9	6 17	1	1	1
名 寄 南 小 学 校	三栖 雅之	西6条南12丁目55番地2	01654-2-4164 01654-2-4165	特学 普通	13 352	5 13	7 18	1		1
名 寄 東 小 学 校	金子 謙治	東3条南3丁目11番地	01654-2-2041 01654-2-4179	特学 普通	7 156	3 6	4 10	1		1
名 寄 西 小 学 校	染木 圭男	西7条南1丁目18番地	01654-2-4177 01654-2-4178	特学 普通	13 244	5 10	6 16	1		1
中 名 寄 小 学 校	鷹合 勇	字日彰285番地	01654-2-3889 01654-9-5640	特学 普通	2 18	1 3	1 6	1		1
智 恵 文 小 学 校	田村 啓一	字智恵文12線南3番地	01654-8-2241 01654-9-3550	特学 普通	2 23	2 3	2 6	1		1
豊 西 小 学 校	工藤 芳晴	西15条南4丁目14番地2	01654-3-4573 01654-3-3973	特学 普通	5 215	3 6	4 19	1		1
風連日進小学校	牧野 裕三	風連町字日進3141番地	01655-2-6036 01655-2-6711	特学 普通	1 6	1 2	4			
東 風 連 小 学 校	菰澤美智子	風連町字東風連3396番地	01655-3-3367 01655-3-3397	特学 普通	1 12	1 3	1 5	1		1
風連下多寄小学校	上村 亮	風連町字瑞生1558番地	01655-3-3932 01655-3-3940	特学 普通	1 10	1 3	7	1		1
風連中央小学校	清水 悟	風連町西町201番地	01655-3-2031 01655-3-2569	特学 普通	6 141	4 6	5 10	1	1	1
小学校 11校 計				特学 普通	62 1418	31 64	36 118	10	2	10

2 市内中学校一覧

(平成23年5月1日現在)

学 校 名	校 長 名	所 在 地	電話・FAX番号	生徒数		学級数	教員数	養 護	事 務
名 寄 中 学 校	宮武 一典	字豊栄101番地1	01654-2-2147 01654-2-2148	特学 普通	4 269	2 9	3 17	1	1
名 寄 東 中 学 校	松井 清隆	西2条北8丁目1番地3	01654-2-3174 01654-2-3175	特学 普通	6 334	3 10	4 21	1	1
智 恵 文 中 学 校	國井 真人	字智恵文11線北2番地	01654-9-3010 01654-9-3011	特学 普通	2 9	2 2	2 6	1	1
風 連 中 学 校	東 文夫	風連町新生町167番地1	01655-3-2026 01655-3-2266	特学 普通	5 112	3 3	4 10	1	1
風連日進中学校		休 校							
中学校 4校（1校休校） 計				特学 普通	17 724	10 24	13 54	4	4

※小・中学校とも電話・FAX番号欄は上段が電話番号、下段がFAX番号

3 小中学校児童生徒数の推移

(1) 小学校

年 次	区 分	学校数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	児童数
平成 21 年度	風連地区	4	39	35	29	36	38	42	219
	名寄地区	7	260	237	213	181	231	208	1,330
	計	11	299	272	242	217	269	250	1,549
平成 22 年度	風連地区	4	22	40	35	27	36	37	197
	名寄地区	7	236	249	232	213	180	228	1,338
	計	11	258	289	267	240	216	265	1,535
平成23年度	風連地区	4	24	22	39	31	28	34	178
	名寄地区	7	217	226	239	232	208	180	1302
	計	11	241	248	278	263	236	214	1480

(2) 中学校

年 次	区 分	学校数	1 年	2 年	3 年	生徒数
平成 21 年度	風連地区	2	39	34	43	116
	名寄地区	3	207	224	217	648
	計	5	246	258	260	764
平成 22 年度	風連地区	2	41	39	33	113
	名寄地区	3	199	205	227	631
	計	5	240	244	260	744
平成23年度	風連地区	1	37	41	39	117
	名寄地区	3	221	197	206	624
	計	4	258	238	245	741

4 中学校卒業生の進路状況

年 次	区 分	卒業生数	進学者		就職者		その他	
			人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
平成 21 年 3 月	風連地区	37	36	97.3			1	2.7
	名寄地区	197	195	99.0	2	1.0		
	計	234	231	98.7	2	0.9	1	0.4
平成 22 年 3 月	風連地区	43	43	100.0				
	名寄地区	219	217	99.1			2	0.9
	計	262	260	99.2			2	0.8
平成 23 年 3 月	風連地区	33	33	100.0				
	名寄地区	226	224	99.1			2	0.9
	計	259	257	99.2			2	0.8

iv 幼稚園教育

本市には、私立幼稚園が5園あり、それぞれの園において幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、特色ある教育活動を行っています。市はこれまで幼児教育の振興と幼稚園経営の充実・安定のため助成・支援を行いつついます。

また、小学校との日常的な連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行が図られるよう努めます。

1 名寄市内の幼稚園（いずれも私立幼稚園）

（平成23年5月1日現在）

幼稚園名	住 所	電 話	代表者	設立年月日	就園状況			合 計
					3 歳児	4 歳児	5 歳児	
学校法人 山崎学園 光名幼稚園	西2条南10丁目 1番地	01654- 2-4741	園長 山崎 博信	S33. 6. 10	25	39	26	90
学校法人 北海道キリスト教学園 名寄幼稚園	大通南2丁目14 番地	01654- 3-0280	園長 中川 貞恵	S25. 9. 1	16	25	45	86
学校法人 名寄大谷学園 名寄大谷幼稚園	西5条南2丁目 10番地	01654- 2-2668	園長 白井 慶子	S33. 5. 6	38	55	50	143
学校法人 旭川カトリック学園 名寄カトリック幼稚園	西3条南4丁目 17番地	01654- 2-2632	園長 長尾 俊宏	S25. 9. 13	19	42	15	76
学校法人 風連学園 風連幼稚園	風連町西町284 番地	01655- 3-2133	園長 加藤 紀子	S29. 5. 10	13	26	17	56

2 幼稚園教育振興事業

- ・私立幼稚園振興補助（幼稚園経営の助成）
- ・幼稚園就園奨励費補助（入園料及び保育料の助成）

※ 平成22年度より幼稚園教育振興事業の担当窓口がこども未来課に変更となりました。

V 学校給食センター

1 施設の概要等

- ・ 名 称 名寄市学校給食センター
- TEL 01654-2-4307 (FAX 2-4308)
- ・ 位 置 〒096-0035
北海道名寄市西5条北10丁目54番地6
- ・ 開設年月 平成3年12月改築 (平成4年4月供給開始)
- ・ 改修工事 平成18年12月 (風連町合併に伴う改修工事)
- ・ 敷地面積 3,257.75㎡
- ・ 建物面積 997.163㎡ (建築基準法1,104.789㎡)
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造一部2階建
- ・ 排水処理施設 80㎡ (回転円板方式)



2 名寄市学校給食センターの概要

名寄の学校給食は、戦後混乱期の昭和22年(1947年)に名寄小学校で始まりました。

この給食は、父母が食材を持ち寄って行われたボランティアによるものであったと記録に残っております。

本格的に学校給食が開始したのは昭和41年(1966年)になってからであり、現名寄小学校

の敷地に学校給食センターが開設され各小中学校に給食が提供されるようになりました。

当時は児童生徒数も多く、1日約6,300食を供給しておりました。

その後、このセンターは26年間使用いたしましたが、施設の老朽化に伴い平成4年1月より最

新設備の整った、現在の学校給食センターに移転し、今に至っております。

3 名寄市の学校給食の沿革

昭和22年	名寄小学校で学校給食開始
昭和23年	名寄南小学校で学校給食開始
昭和40年 9 月	センター建設着工（名寄市西1条南1丁目）
昭和40年12月	センター完成（鉄筋ブロック造一部2階建 ・470.55㎡）
昭和41年 4 月	センター方式で全小中学校へ学校給食開始（6,254食）
昭和45年 8 月	食缶 ・食器の配送を廃止し、パック方式に。
昭和49年 6 月	使い捨て容器を廃止し、回収食器に。
昭和52年 9 月	米飯給食開始
昭和61年 6 月	パック方式を廃止し、食缶方式に。
昭和63年 1 月	もち給食開始
昭和63年 4 月	赤飯給食開始
平成 3 年 5 月	現センター建設着工
平成 3 年12月	現センター完成
平成 4 年 1 月	供給開始
平成 5 年 4 月	アレルギー給食開始
平成 6 年 5 月	会食型高齢者給食開始（随時）
平成 7 年 7 月	宅配型高齢者給食開始（毎週 金曜日）
平成 9 年 5 月	サテライト型デイサービス給食開始（毎週 月・水・金曜日）
平成15年 2 月	国体給食
平成18年12月	風連町・名寄市合併に伴う改修工事
平成19年 2 月	学校給食センターの部分的民営化に向けて検討
平成19年 4 月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食センターの統合
平成19年 4 月	会食型・宅配型高齢給食の民営化
平成19年 5 月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食会の統合

4 学校給食センターの状況

・平成23年度事業計画

小中学校	小学校11校 1,478名＋教187名	316,350食/年
全校2,479名（内教員268名）	中学校4校 733名＋教81名	154,660食/年
	保育所（僻地）、試食等	22,810食/年
年間稼働日数（206日）		493,820食/年
1日当たり		2,397食/日

・平成23年度学校給食センター稼働日 210日

1 学期	4 月5日～7月25日	75日間
2 学期	8 月16日～12月26日	89日間
3 学期	1 月16日～3月23日	46日間
合 計		210日間

・給食費

		一食単価	
小 学 校	低学年（１・２年生）	２３１円	H 19年 度改正
	中学年（３・４年生）	２３３円	
	高学年（５・６年生）	２３５円	
中 学 校		２７５円	

・給食の内容

米 飯	週3.5回
パ ン	週0.5回（２週間に１回）
麺 類	週 １回

・職員構成（35名）

（平成23年4月1日現在）

市職員			道職員	嘱託職員		臨時職員	
所長	総務係長	調理師	栄養士	配送・ボイラー	栄養士	調理職員	調理パート
1	1	1	2	5	2	1	22

・特色

- ① 平成５年４月より、食物アレルギーを持つ児童・生徒が健康な生活を営めるよう、家庭の食事療法に協力するという立場でアレルギー給食を実施しています。
 - ・アレルギー給食（平成23年5月1日現在27名の児童生徒へ供給）

小 学 校（児 童） 24名 中学校（生徒） 3名
- ② 米飯、魚を基本にした日本型給食です。使用する食材料は地場産のものを活用することで安全性を図りながら、栄養バランスにも配慮した献立メニューを専門の栄養士が立案します。
- ③ 入学式や卒業祝い、季節の行事食（各節句おはぎ、ケーキ、さくらもち等）
学校給食の献立に地域の郷土料理や伝統料理を取り入れることは、国や地域の伝統文化を継承していくための関心や意欲を高める上で大きな教育効果が期待できます。
- ④ 地場産品の活用
地場産業の育成に繋がるということで、地場産食材を積極的に取り入れています。地元米粉・もち米粉を使用したパンの提供も行い、地場産米の消費拡大を図っています。
自然との関わり、大地の恵み、地場産業に携わる人々を思い起こしてもらえればと考えております。
学校給食において地場産物を使用することにより、児童生徒が学校給食の食材を「生きた教材」として、地場産物の活用の意味や地域の産業、働く人々について理解するとともに、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域社会に対する誇りや愛情を育てることができます。

vi 名寄市立大学

1 所在地 名寄市西4条北8丁目1番地1 (Tel 2-4194)

2 沿革概要

地元女子の教育向上と地域住民の健康と福祉を守る職業人の養成を目的に、昭和35年4月、家庭科教員と栄養士を養成する北海道初、日本最北の公立短大として誕生した。

18歳人口の減少、女子の高学歴志向等々学生ニーズの多様化及び変化、確実に進行している高齢化に伴う医療・福祉・健康管理など質の高いケアが求められている中で、そうしたニーズに応えるべく「児童」は短大として残置し、短大を発展改組させ、「看護」「社会福祉」「栄養」の3学科による4年制大学保健福祉学部として、平成18年4月に開学した。平成20年4月から短期大学を短期大学部として併設し、平成21年度に学年完成を迎え現在に至っている。

市民の支えにより、名寄女子短期大学が開学してから50年の節目を迎え、この間、看護師・保育士養成など時代のニーズに応え短大改革を重ね、名寄市立大学2期生をあわせ、これまで7,200名余りの卒業生を輩出し、幼小中教諭・栄養士・保育士・看護師・保健師・社会福祉士として地元はもとより全国で活躍している。

(沿革年表)

1960 (昭和35) 年	名寄女子短期大学設置認可 (家政科入学定員60名)
1961 (昭和36) 年	栄養士養成施設として認可
1962 (昭和37) 年	中学校教諭2種免許状課程認定 (家庭)
1966 (昭和41) 年	入学定員80名に増員
1979 (昭和54) 年	入学定員100名に増員
1981 (昭和56) 年	栄養、家政両専攻課程に分離 (入学定員各専攻50名)
1982 (昭和57) 年	道北地域研究所を付置
1984 (昭和59) 年	児童専攻課程 (入学定員50名) を設置 (入学総定員150名に増員)
1987 (昭和62) 年	新校舎完成・移転
1988 (昭和63) 年	体育館完成
1989 (平成元) 年	学生会館完成
1990 (平成2) 年	校名を市立名寄短期大学に変更、共学化 家政科を生活科学科に、家政専攻を生活科学専攻に改称 児童専攻に幼稚園教諭2種免許状課程認定
1994 (平成6) 年	看護学科を設置 (入学定員50名) 保母養成施設として認可 (児童専攻課程)
1996 (平成8) 年	学生寮完成
2000 (平成12) 年	市立名寄短期大学開学40周年
2006 (平成18) 年	新校舎完成 (新館・恵陵館) 保健福祉学部を設置し、4大として開学 市立名寄短期大学生活科学科児童専攻を児童学科に名称変更
2008 (平成20) 年	市立名寄短期大学を名寄市立大学短期大学部に名称変更
2010 (平成22) 年	名寄市立大学創立4周年・短期大学部開学50周年

地域に開かれた大学を目指して

○名寄市立大学

保健福祉学部

栄養学科

- ①栄養士免許
- ②管理栄養士国家試験受験資格
- ③教員免許状取得可能
 - ・栄養教諭一種免許状

日本では今「少子・高齢化」と、それにとともなう社会変化が急速に進んでいます。と同時に「生活習慣病」も増加し、「食」の乱れも指摘され、「食」のあり方の再考や「食育」が必要となっています。

医療機関・行政機関・福祉施設などの一線で活躍する管理栄養士を育成することを念頭に教育目標を設定しています。

看護学科

- ①看護師国家試験受験資格
- ②保健師国家試験受験資格

看護とは「社会生活を営む人間である個人、家族、集団、コミュニティを対象とし、健康維持の増進及び疾病の予防、疾病や障害を有する人々の健康回復を目指し、また、死を迎えようとしている人々の尊厳を大切に支援すること」だと考えます。

多様化する看護にかかわるニーズを的確に把握し、質の高い看護を提供できる人材の育成をめざしています。

社会福祉学科

- ①社会福祉士国家試験受験資格
- ②任用資格
 - ・社会福祉主事
 - ・児童福祉司
 - ・児童指導員
 - ・家庭相談員
 - ・知的障害者福祉司
- ③教員免許状取得可能
 - ・中学校教諭一種免許状（社会）
 - ・高等学校教諭一種免許状（公民、福祉）
 - ・特別支援学校教諭一種免許状

21世紀の日本は、平和と福祉の社会を希求しています。ノーマライゼーションの理念を基調にして、誰もが安心して暮らせる福祉社会が望まれています。これを実現するため、「社会福祉の理念・理論に裏付けられた援助技術と利用者の立場に立った豊かな人間性・感性を有する、優れた社会福祉専門職」を輩出することをめざしています。

短期大学部

児童学科

- ①保育士資格
- ②教員免許状取得可能
 - ・幼稚園教諭二種免許状

地域社会の人間関係の希薄化、母親の育児不安、過度な早期教育など地域や家庭を取り巻く状況は変化し続けています。児童学科では、科学的知識に裏打ちされた広い視野と地域のような関係者と連携できる広範な実践力を持った粘り強い人材育成をめざしています。

3 学生数

※ 名寄市立大学（平成18年4月1日開学）

（平成23年5月1日現在）

学部	学科	入学定員	現 員				計
			1 年	2 年	3 年	4 年	
保健 福祉 学部	栄養学科	40人	44	42	43	39	168
	看護学科	50人	52	55	54	53	214
	社会福祉学科	50人	53	59	51	57	220
計		140人	149	156	148	149	602

※ 名寄市立大学短期大学部

（平成23年5月1日現在）

学科	入学定員	現 員		計
		1 年	2 年	
児童学科	50人	55	59	114
計	50人	55	59	114



vii 就学の助成

1 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

(1) 平成23年度就学援助費の内訳（ただし、※は平成22年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校	支 給 内 容
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 15,900	円 18,300	小学校又は中学校に入学する児童生徒が通常必要とする学用品及び通学用品
学 用 品 費	1～6年	8,900	—	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品
	1～3年	—	17,400	
通 学 用 品 費	2～6年	1,700	—	通学用靴、雨傘等の通学用品に関わる経費
	2～3年	—	1,700	
体育実技用具費	ス キ ー	※ 26,193	※ 35,152	体育授業の参加に必要な体育実技用具
	柔 道 着	—	3,990	
宿 泊 校 外 活 動 費		※ 128	※ 3,770	学校行事として宿泊を伴う校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科などの経費
修 学 旅 行 費		※ 19,458	※ 49,445	修学旅行に必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
学 校 給 食 費	1～6年	※ 44,631	—	学校給食に要する食費の金額
	1～3年	—	※ 50,618	
医 療 費		※ 6703	※ 7,392	伝染病又は学習に影響のある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けた場合、その治療に要する費用 ※学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び濃痂湿疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノサイド、う歯、寄生虫をいう。

(2) 平成20・21・22年度就学援助の状況

(単位：千円)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度
小学校	実 施 人 員	272	249	250
	決 算 額	18,336	17,568	17,405
中学校	実 施 人 員	139	152	145
	決 算 額	14,393	15,253	14,652
計	実 施 人 員	411	401	395
	決 算 額	32,729	32,821	32,057

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

(1) 平成23年度就学奨励費の内訳（ただし、※は平成22年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 9,950	円 11,450
学 用 品 費	1～6年	5,550	—
	1～3年	—	10,850
通 学 用 品 費	2～6年	1,085	—
	2～3年	—	1,085
体育実技用具費	スキー	12,650	18,150
宿 泊 校 外 活 動 費		—	※ 2,002
修 学 旅 行 費		※ 9,283	※ 26,555
学 校 給 食 費	1～6年	※ 21,742	—
	1～3年	—	※ 25,138

(2) 平成20・21・22年度就学奨励費の状況

(単位：千円)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度
小学校	実 施 人 員	23	24	36
	決 算 額	919	803	1,356
中学校	実 施 人 員	9	10	10
	決 算 額	501	513	570
計	実 施 人 員	22	34	46
	決 算 額	1,420	1,316	1,926

3 育英資金利子補給制度

名寄市では、学業成績が優秀であって経済的に就学が困難な学生及び生徒に対して、他機関から貸付けを受けた奨学金並びに修学資金にかかる利子の一部を補給する制度を次により実施しています。

(1) 奨学生の資格

- ① 親又はこれに代わるべき者が名寄市民であること。
- ② 大学院、大学、専修学校（専門課程）、各種学校、高等専門学校及び高等学校に在学、または進学を志望すること。
- ③ 学業成績優秀、性行善良であること。
- ④ 学資の支弁が困難であること。

(2) 対象者

上記の資格を有した者で、独立行政法人日本学生支援機構奨学生として有利子奨学金の貸付けを受けた者又は㈱日本政策金融公庫の修学資金、民間金融機関の修学制度資金等の貸付けを受けた者。

(3) 申込期間 毎年10月末日まで

(4) 利子補給額

下記基準額（貸付けを受けた額が基準額に満たない場合は、貸付けを受けた額）に対し

、

- ① 独立行政法人日本学生支援機構奨学生・・・基準額にその貸付利率を乗じて得た額
- ② 上記以外・・・所得金額によって、基準額に利率3%を限度として補給。

※利子補給基準額：月額

区 分	補給基準額（月額）
大 学 ・ 大 学 院	40,000円
専 門 学 校	30,000円
高 等 専 門 学 校	15,000円
高 等 学 校	10,000円

4 育英金貸付事業（風連地区特例区事業）

合併に伴い、平成18年度から5年間の特例区事業として、要件を満たす者に対し教育資金の貸付制度（無利子）を実施していましたが、平成22年度をもって終了しました。

貸付けを行った育英金については、今後も引続き返還していただきます。

viii 各種助成制度（学校教育課所管）

1 名寄市教育振興補助事業

名寄市における文化・スポーツの振興を図るため、名寄市教育振興基金を活用し、全道・全国大会に出場する小中学校児童生徒及び全国大会に出場する高等学校生徒に対し、大会出場に要する費用の一部を助成します。

平成20・21・22年度事業の実績

（単位：千円）

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
申請事業数	36	33	38
補助金交付額	2,655	2,085	2,313
うち小学生	465	346	637
うち中学生	2,147	1,720	1,631
うち高校生	43	19	45

2 特色ある教育活動助成金交付事業

市内児童生徒の健全育成を目的として、特色ある教育活動を行う者に対し、その活動に要する費用の一部を助成します。

平成21・22年度事業の実績

（単位：千円）

	平成21年度	平成22年度
申請事業数	8	4
補助金交付額	242	81
うち小学生	192	31
うち中学生	0	0
うち高校生	0	0
うちその他	50	50

平成21年度より名寄市ウィークエンド学校活用支援事業及び名寄市生涯学習対策補助事業は廃止し、新たに特色ある教育活動助成金事業として始めました。

（参考）平成19・20年度事業の実績

（単位：千円）

	生涯学習振興対策補助		ウィークエンド学校活用支援	
	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度
申請事業数	4	1	12	14
補助金交付額	113	50	130	188
うち小学生	110	0	130	188
うち中学生	0	0	0	0
うち高校生	3	0	0	0
うちその他	0	50	0	0

ix 名寄市教育研究所

平成23年度推進計画

1 研究主題

心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成

2 研究主題の設定理由

上教研は、研究テーマ「北国に生き、未来を切り拓く子どもの育成 ～心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ『上川の教育』の創造～」から、郷土を愛し地域に根ざした教育の実現を目指している。

名寄市教育研究所は、研究主題を「心豊かにたくましく生きぬく児童生徒の育成」と設定し、各種事業や研修活動に取り組んできた。本年度も5年目の継続研究主題として設定し、その達成に向けた一層の研究推進が必要と考える。小学校では本年度から、中学校では来年度から全面実施される新学習指導要領は、現行学習指導要領の「生きる力」という理念を継承し、それを支える「確かな力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視し、知識・技能の習得と活用力の育成を図るとともに、伝統と文化に関する教育や道德教育、体験活動の充実等が求められる。

これらを踏まえ、名寄市教育目標（①北国風土に生きたくましく成長する人 ②自ら学び創造的に生きる人 ③ふれあいを大切に心豊かな人 ④勤労と責任を尊びよりよい会を築く人 ⑤新しい時代を切り拓き郷土発展に尽くす人）にも照らし合わせ、名寄市風土と歴史のもとに培われた文化・芸術を大切に、郷土を愛する知性と感性に満ちた他を思いやる「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」に向け、今年度も研究活動を推進する。

3 運営の基本方針

- （1）研究主題の解明にあたっては、テーマと結びつく具体的な研究を実践できるように努める。
- （2）名寄市教育研究所の事業、研究実践の推進に努める。
- （3）上川管内教育研究会、上川研修センター等と連携し、研究推進体制の充実に努める。
- （4）授業公開による研究交流や日常の実践的な交流、外部講師・外部施設等の活用によって活発な班研修の実施に努める。
- （5）小中連携に努め、課題や情報の発信の場となるように努める。
- （6）全研連、道研連等の関係機関の動向に留意し、連携が深まるように努める。

4 事業

- (1) 所報（名寄市教育・研究紀要）の発行・年間3回発行（5月、11月、3月）
- (2) 研究班一斉研修日の開催・年間3回開催（4月、6月、8月）
- (3) 名寄市教育研究大会の開催
- (4) 研究委託校制度の継続
 - ・目的：市内各小中学校における課題解決のための研究実践を助成し、成果の交流深化を図り、名寄市教育の推進向上に努める。
 - ・付則事項：研究委託校は、授業研究会を開催し、実践の成果を公開する。
 - ・委託校：平成23年度 名寄南小学校・名寄東中学校
- (5) 名寄市教育研究発表集会の開催
- (6) 名寄市小中学校音楽発表会の開催
- (7) その他（専門委員会等の活動の実施）

5 事業推進の基本方針

名寄市教育研究所は、本来、北海道教育研究所連盟（道研連）に所属するが、上川管内の市町村教育研究会で構成されている上川管内教育研究会（上教研）との連携を図りながら事業を推進しているのが実態である。

そのため、「名寄市教育研究所」は、「道研連」「教研」との二面性をもっているものの、「名寄市教育研究所条例」のもと、名寄市の教育発展のために、各種の提言、事業、教育実践活動等行っている。そのことを基本におさえる必要がある。

名寄市の教育推進のために、名寄市教育研究所の果たす役割は重要であり、さらに活性化を図っていく必要がある。

平成23年度 調査研究部運営計画

《 運 営 方 針 》

- (1) 名寄市の教育推進のために、教育の今日的課題を踏まえ、調査研究活動を行う。
- (2) 調査研究によって必要な課題を集約し、名寄市の教育の改善点を明らかにする。

平成23年度 教育研究部運営計画

《 運 営 方 針 》

- (1) 「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」という研究主題については、各研究班による研究はもとより、各事業を通して、より明確にし、具体的な計画に基づいた実践研究を積極的に推進する。
- (2) 教育研究所の基盤は、各研究班の活動にあることを確認し、その活性化に努める。
- (3) 各事業については、研究所と各学校、班長、連絡員と関係を密にするとともに、関係機関との協力・調整による運営に努める。

X その他学校一覧

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

		学 校 名	校 長 名	課 程	学級数	生徒数	所在地	電 話 (F A X)	
高 等 学 校	道立	名寄高等学校	千原 治	普通科	12	432	徳田 204-1	(事務室 TEL・FAX) 3-6841	
				計	12	432		(職員室 TEL) 3-6842	
	道立	名寄産業高等学校 (光凌キャンパス)	福井 誠	電子機械科	3	103	西 5 北 5	(事務室 TEL・FAX) 2-3066	
				建築システム科	3	59		(職員室 TEL) 2-3067	
				生活文化科	3	112			
		道立		名寄産業高等学校 (名農キャンパス)	酪農科学科	3	43	緑丘 3-3	(TEL) 2-4191
					計	12	317		(FAX) 2-4192
各種学校	私立	上川北部医師会 附属准看護学院	吉田 肇	准看護師科	2	39	西 5 北 2	(TEL) 2-5311	
				計	2	39		(FAX) 2-5621	

i 平成 23 年度 名寄市社会教育推進の重点

生涯学習とは、一人ひとりが自分に適した方法で、生涯を通じて自発的に行う学習のことであり、幅の広いものです。このように主体的にはじめた学習活動によって、個々が豊かになり、その個人が集まって社会に還元することにより社会が豊かになっていく、これが生涯学習型社会です。

都市基盤が整備されても、そこに生活する人々が人生や社会に前向きな関心を持たなければ、まちの発展は期待できません。まちづくりに理念を与えるのは、そこに住む人の未来への希望であり、それは人々が日々元気を保っていられるかにかかっており、その元気を支える一助が生涯学習活動です。

社会教育行政はこのような生涯学習を推進するため様々な方法により、市民自らが主体的に活動していくことを支援し、援助する役割を担っています。

教育委員会では新名寄市総合計画が平成 18 年度に策定されたことを受け、教育・文化・スポーツ分野の基本目標である「心豊かな人と文化を育むまちづくり」を達成するために、平成 19 年度に社会教育中期計画を策定しました。平成 24 年度までの 5 ヶ年にわたり社会教育推進の基本的な考え方を示した同計画に沿って生涯学習型社会の基盤をつくる社会教育行政を進めます。

中期計画でも大きな事業として位置づけられたなよろ市立天文台「きたすばる」が昨年 4 月 17 日にオープンし、北海道大学が 1.6m 望遠鏡を設置したことにより本年 4 月 29 日にグランドオープンいたしました。北海道大学との相互協力協定に基づき学術交流を進め、交流人口の拡大に努めるとともに、天文台を活かした特色あるまちづくりや学校の総合的な学習への取り組みにも貢献できるよう施設の有効活用を図ります。

さらに、老朽化した市民会館大ホールの代替施設として、仮称市民ホールを芸術文化の拠点として市民文化センター西側に建設することとなりましたが、本年度基本設計を実施するにあたり、地域住民による文化振興と創造の場、人材育成の場、交流の場として活用されるよう検討を進めます。

近年、青少年をめぐる様々な問題が発生しており、その背景として「地域の教育力の低下」が指摘されています。また、教員と子どもが向き合う時間を拡充し、教員が子ども一人ひとりに対してきめ細やかな指導をするためには、多忙な教員を支援し、勤務負担の軽減を図ることが求められています。さらに地域住民が社会教育を受けて学んだ成果を子どもの教育に活かしていくことが大切です。文部科学省による、地域の教育力の向上を図るとともに、地域全体で学校教育を支援する「学校支援地域本部事業」は、昨年で 3 年間の委託事業が終了されました。市では従来から高齢者の学習の場である名寄ピヤシリ大学や、名寄東小コミュニティカレッジ、風連下多寄小コミュニティースクールで学ぶ方々と小学生が交流を図ったり、小学校区における野球クラブを教員と共に地域の方々が指導したりする支援活動を展開していますが、委託事業終了後も地域住民による安心安全の取り組みを推奨し、学校の要請に可能な範囲でボランティアとの橋渡しを行い、ボランティアに対する保険の加入を継続するなど学校支援体制を引き続き進めます。

ii 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画

I 名寄市がめざす生涯学習社会の形成

☆文化活動拠点施設整備事業

1 市民文化センターの利用促進

市民文化センターの整備を進め、利用促進を図ります。

(施設概要)

- ① 所在地 名寄市西13条南4丁目2番地 (TEL 01654-2-2218)
- ② 開設年月日 昭和58年8月11日
- ③ 主要施設
 - ・多目的ホール 353.2 m²
 - ・生活研修室 A 30.0 m²
 - ・大会議室 A 80.0 m²
 - ・〃 B 90.0 m²
 - ・〃 B 80.0 m²
 - ・調理実習室 104.0 m²
 - ・小会議室 32.0 m²
 - ・営農研修室 72.0 m²
 - ・会議室 48.0 m²
 - ・視聴覚研修室 108.0 m²
 - ・市民工芸室 97.6 m²
 - ・展示ホール 294.8 m²
- ④ 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時
 - ・休館日 毎月末日 (ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日)
年末年始 (12月30日～1月5日)

☆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 趣味、教養、課題解決へ向けた学習活動の促進

(1) 平成23年度市民講座

趣味や教養、実生活での課題を解決するような学習活動の場を市民に提供することで、豊かな人間性と創造性を養い、地域の連帯感を醸成し、健康で安全な住みよい生活の場を主体的につくりあげる学びを支えることを目的に開設します。

(2) ジャックの豆事業 (自主的学習グループ・サークル活動促進事業)

市民の自主的な学習グループ・サークル活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進します。

2 名寄ピヤシリ大学の開設

(1) 開設期間 4月26日～2月28日 (毎月第2・4火曜日を原則として計20回開設)

(2) 学生数

大学1年	12名	大学2年	14名	合計	86名
大学3年	15名	大学4年	10名		
大学院1年	13名	大学院2年	22名		

(3) 学習内容 各学年毎に設定した年間テーマに沿ったカリキュラムとしています。

(4) 公開講座の開設

ピヤシリ大学生、大学院生に加えて広く市民の参加を募るとともに、「道民カレッジ」(学長：高橋はるみ知事、事務局：(財)北海道生涯学習協会)連携講座として年5回開講します。

- (5) クラブ活動
 - 小筆・合唱・手芸・絵手紙
- (6) 自由研究・文集の発行
 - ①大学4年生による自由研究
 - ②文集「風雪」の発行
- (7) 指導者養成・交流活動
 - ①上川管内高齢者学びのつどいへの参加
 - ②小学生との交流授業の実施

3 生涯学習啓発事業の実施

- (1) 生涯学習フェスティバルの開催
 - ◇地域住民が学び習得している技術や、地域の特色ある諸活動を一堂に会し、まちづくりを考え、実践する場として、生涯学習フェスティバルを開催します。
 - ◇10月30日(日)

4 公民館分館事業の支援

名寄地区に6分館(中名寄、曙、共和、瑞穂、弥生、日進)を設置し、地域独自の分館事業を支援します。

5 その他の生涯学習事業

- (1) 生涯学習情報の提供、相談
- (2) 生涯学習リーダーバンク事業
 - 指導者登録制度「生涯学習リーダーバンク」の市民への周知と、指導者の登録促進と運用の充実を図ります。(平成23年5月1日現在登録者数 37名)

6 諸会議・研修会

- (1) 社会教育委員の会会議 年3回(5月27日・11月・3月)開催予定
- (2) 名寄市公民館運営審議会 年2回開催予定(5月16日・2月)開催予定
- (3) 名寄市公民館分館長・主事会議 7月1日

7 関係団体に対する負担金・補助金

①上川管内社会教育委員連絡協議会負担金	30,000円
②北海道社会教育委員連絡協議会負担金	54,000円
③北海道地域活動振興協会負担金	10,000円
④北海道公民館協会上川支部負担金	7,000円
⑤北海道公民館協会負担金	52,000円
⑥名寄市女性団体連絡協議会補助金	220,000円
⑦名寄市PTA連合会補助金	300,000円
⑧名寄東小学校コミュニティー施設運営補助金	500,000円
⑨風連下多寄小学校コミュニティースクール運営委員会補助金	30,000円
⑩ジャックの豆事業助成金	100,000円
⑪社会教育関係団体活動推進補助金	1,200,000円

Ⅱ 家庭教育支援の推進

☆家庭と地域の教育力の向上

1 家庭教育学級の開設

名寄地区に4学級（幼稚園）開設し、各学級で自主的に学習内容を企画し実施します。

交付金 200,000円（50,000円×4学級）

2 家庭教育支援講座の開設

家庭教育を行ううえで必要な知識・技術の向上を目指した学習機会や、親子のコミュニケーションを深める機会を提供します。

Ⅲ 生涯スポーツの振興（P42～ v 生涯学習課・スポーツ振興事業計画に記載）

Ⅳ 青少年の健全育成

☆青少年健全育成事業

1 平成23年度野外体験学習事業「へっちゃLAND2011」

小4～中3の児童生徒を対象に、大学生等の協力を得て市教育委員会と小中学校校長会で実行委員会を組織して実施します。

実施予定日 7月26日～7月29日（3泊4日）

2 名寄市公民館主催事業

（1）夏休み子ども写生会

8月8日 浅江島公園（作品展示8月8日～15日 市民文化センター）

（2）冬休み子ども料理教室

12月23日 市民文化センター

（3）第39回新春こども書き初め広場

1月6日（作品展示1月6日～16日、表彰式1月16日） 市民文化センター

（4）第26回冬休み児童生徒作品展

2月2日～14日 市民文化センター

3 名寄市子ども会育成連合会との共催事業

（1）リーダー養成事業「わくわく！体験交流会」

子ども達が様々な体験を通して、自主性や社会性を身に付けるとともに、協調性や相手を思いやる心を育てることを目的とし、子ども会の枠にとらわれず、集団の中でリーダーシップをとれる子どもを養成します。（年4回開催予定）

（2）子ども会活動促進事業

① スポーツ大会（スポーツ・レクリエーション等交流事業）11月13日

② スポーツ大会（フットサル競技） 1 2 月 3 日

4 学習活動の支援

青少年の学習活動のために、用具等を貸し出します。

5 成人式運営事業

実行委員会を組織して式典、交流会を開催します。

(1) 開催予定日 平成 2 4 年 1 月 8 日（日）（毎年 1 月第 2 日曜日）

(2) 場 所 グランドホテル藤花

6 指導者養成事業

(1) 育成指導者研修会

名寄市子ども会育成連合会との共催で開催します。

(2) 育成指導者交流会

名寄市子ども会育成連合会との共催で、子ども会育成指導者間の親睦と情報交換を目的に実施します。

7 道教委・管内関連事業

(1) 青少年体験活動推進事業

道教育委員会が主催する青少年活動リーダー養成事業「ジュニアリーダーコース」への参加を支援します。

(2) 「少年の主張」上川総合振興局地区大会

全道大会につながる中学生対象の弁論大会に、発表者を 1 名派遣します。

8 青少年育成団体に対する負担金・補助金

(1) 名寄市子ども会育成連合会補助金	8 0 0 , 0 0 0 円
(2) 日本ボーイスカウト名寄第 1 団運営補助金	3 0 , 0 0 0 円
(3) へっちゃLAND 2 0 1 1 実行委員会補助金	4 0 0 , 0 0 0 円
(4) 名寄市成人式実行委員会負担金	6 2 0 , 0 0 0 円

V 地域文化の継承と創造

☆芸術文化振興事業

1 文化活動への参加機会と芸術鑑賞機会の充実

(1) 第 5 4 回市民文化祭

◇市民が行っている各種文化活動について全市的な規模で発表する場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催します。

◇具体的には加盟団体をはじめとする各種団体実行委員会を組織し、開催します。

◇芸能発表 1 1 月 3 日（木・祝） 市民会館大ホール

◇作品展示 1 1 月 1 日（火）～ 3 日（木・祝）市民文化センター

(2) 芸術文化鑑賞バスツアー

◇目的：優れた美術作品や公演を鑑賞し、豊かな情操を養い創造意欲を高め、芸術文化推進への意欲を育てる。（定員はいずれも33人）

◇第1回 6月 2日（木） 旭川市・東川町

旭川美術館「北洋の美しい暮らし LIFE&DESIGNー織田憲嗣コレクションー」
北の住まいの設計社

◇第2回 6月29日（水） 中富良野町・美瑛町

富良野風景画館、新星館

◇第3回 7月15日（金）～16日（土） 小樽市・札幌市

小樽貴賓館、森ヒロコ・スタシス美術館、北一ヴェネツィア美術館、北一硝子
道立近代美術館「日中国交正常化40周年記念 地上の天宮 北京・故宮博物院展」

◇第4回 8月20日（土） 札幌市

札幌芸術の森「メアリー・ブレアの魔法の世界」

◇第5回 9月27日（火） 士別市あさひサンライズホール

こまつ座「父と暮らせば」観劇

◇第6回 10月15日（土）～16日（日） 札幌市

劇団四季「ライオンキング」観劇 他

(3) であいの広場作品展示（市・市教委主催・共催事業）

◇写真同好会「北彩」 4月13日～19日

◇切り絵作品展示会 5月 9日～16日

◇盆栽友の会 5月27日～39日

◇男女共同参画週間 6月11日～29日

◇写真道展巡回展 6月22日～7月 1日

◇二科展 7月12日～20日

◇へっちゃらLAND写真展 日程未定

◇夏休み子ども写生会作品展 8月 8日～16日

◇朔人社美術協会 9月26日～10月 2日

◇一騎展 9月 4日～11日

◇素敵写真同好会 10月 3日～10日

◇ピヤシリ大学祭作品展 10月19日～25日

◇写真集団「翔」写真展 11月 5日～14日

◇小学生による「税の書道展」 日程未定

◇細氷フォト研究会展 11月15日～26日

◇こども書き初め広場作品展 1月 6日～16日

◇冬休み児童生徒作品展 2月 2日～14日

◇上川北部公民館ネットワーク高齢者作品巡回展 日程未定

2 地域活動の拡充と参加促進

市民盆踊り大会を、実行委員会を組織して実施します。

実施予定日 8月14（日）、15日（月）

3 関係団体に対する負担金・補助金

①名寄市文化協会補助金	636,000円
②市民盆踊り大会実行委員会補助金	200,000円
③名寄太鼓補助金	100,000円
④風連御料太鼓補助金	59,000円
⑤市民文化祭・生涯学習フェスティバル実行委員会補助金	350,000円
⑥なよろ舞台芸術劇場実行委員会補助金	1,200,000円



iii 風連地区生涯学習・ 風連公民館の事業計画

I 名寄市がめざす生涯学習社会の形成

☆文化活動拠点整備事業

(施設概要)

(1) ふうれん地域交流センター

- ① 所在地 名寄市風連町本町 62 番地 2 (TEL 01655-3-2531)
- ② 開設年月日 平成 22 年 4 月 12 日
- ③ 主要施設

・大ホール (2F)	311.39 m ²	・ステージ (2F)	94.21 m ²
・中会議室 (2F)	73.62 m ²	・会議室 (3F)	64.24 m ²
・大会議室 (3F)	104.42 m ²	・調理実習室 (3F)	55.38 m ²
・研修室 (4F)	44.05 m ²	・和室 (40 畳) (4F)	73.14 m ²
- ④ 利用案内
 - ・開館時間 午前 9 時～午後 10 時

(2) 風連陶芸センター

- ① 所在地 名寄市風連町仲町 86 番地
- ② 開設年月日 昭和 54 年 9 月 1 日
- ③ 主要施設

・床面積	184.22 m ²	・事務室	10.50 m ²
・展示室	23.25 m ²	・研修室	76.59 m ²
・機械室	47.39 m ²		
- ④ 利用案内
 - ・開館時間 午前 8 時 45 分～午後 5 時 30 分
～午後 9 時 (夜間講座のみ)
 - ・休館日 土・日曜日、国民の休日
 - ・年末年始 (12 月 30 日～1 月 5 日)

☆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

(1) 瑞生大学 (高齢者事業)

講話、軽スポーツ、各種研修会、健康教室、農園づくり、クラブ活動等の講座で生涯学習を深める。

- | | | | | |
|---------|----------|------|----------|------|
| ① 学 生 数 | 大学 1 年生 | 4 人 | 大学 2 年生 | 12 人 |
| | 大学院 1 年生 | 11 人 | 大学院 2 年生 | 12 人 |

研究生	91 人	
合 計		130人

- ② 開 設 日 毎月 7・17・27 日を原則として開設
- ③ 学習講座（年間33講座）
みのりの風・まなびの風・ふれあいの風・やすらぎの風・おもいで風
- ④ クラブ活動
書道・フォークダンス・カラダン・パソコン・陶芸
- ⑤ 異世代間交流
風連中央小学校との交流会

（2）風連陶芸センター事業

児童、生徒、一般対象の陶芸教室、サークル活動の支援

- ・各小学校の体験教室（随時）
- ・サークル活動（毎月 2 回）・一般陶芸教室（毎月 2 回）
- ・瑞生大学陶芸クラブ活動（毎月 2 ～ 3 回）・各団体等の体験研修会（随時）

（3）風連公民館事業

①会議の開催

- ・名寄市風連公民館運営審議会（年 2 回開催予定）
第 1 回目 6 月上旬～中旬 ・ 第 2 回目 2 月下旬予定
- ・名寄市風連公民館分館長・主事会議（年 2 回開催予定）
第 1 回目 6 月上旬～中旬 ・ 第 2 回目 各分館毎に開催

②風連公民館講座

- ◇切り絵手紙講座
- ◇料理教室
- ◇書き初め大会 平成 24 年 1 月 7 日（土）予定

③ジャックの豆事業

市民 5 人以上で構成される自主的な学習グループ・サークルで、活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進する。

④花と緑のくらし事業

風連地区各小中学校への花の苗代補助

⑤風連公民館分館活動の推進

風連公民館各分館（5 分館）への地域活動推進（交付金の交付）

旭分館	（340,000 円）	・	下多寄分館	（280,000 円）
日進分館	（260,000 円）	・	東風連分館	（280,000 円）
西風連分館	（320,000 円）			

⑥社会教育関係団体活動推進補助金

⑦関係団体に対する補助金

風連文化祭実行委員会（200,000 円）

Ⅱ 生涯スポーツの振興

☆スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持、増進を図る

(1) 維持管理

- ・風連地区（市直営）

名寄市風連B & G海洋センター、名寄市風連農村環境改善センター、名寄市風連東地区運動広場テニスコート、名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場、名寄市営風連球、名寄市風連スキー場

（施設概要）P48 ～ 市内体育施設に記載

(2) 施設整備

- ①ユーロトランプ・スプリングベット（トランポリン用具）
- ②東地区運動広場簡易パークゴルフ場休憩所テント

☆スポーツ振興事業

生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流、健康維持、増進の促進を図るため、スポーツクラブ「ポポ」等と共催した事業の実施。

(1) 各種スポーツ教室及び大会の支援

各種スポーツ教室の開催及び各種スポーツ大会を支援、協力をします

(2) 関係団体に対する補助金等

スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します

- ・風連町体育協会補助金
- ・風連スポーツクラブ「ポポ」補助金
- ・風連日進スケートリンク補助金

(3) 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、多くのスポーツ活動の場を提供します。

小学校（4校）風連中央小学校、風連下多寄小学校、東風連小学校、風連日進小学校

(4) 総合型地域スポーツクラブの拡大

風連スポーツクラブ「ポポ」を支援・協力し、組織の拡大を促進します。

Ⅲ 青少年の健全育成

☆青少年健全育成事業

(1) 少年の学習活動

都会っ子体験交流事業の推進

名寄市に住む子ども達と、東京都杉並区の異なる環境を持つ子ども達との交流を通して、人間性にあふれ意欲に満ちた子ども達の育成を図る。

小学生（4年生～6年生）杉並区25名、名寄市25名

名寄会場 7月28日～31日（3泊4日）・東京会場 8月5日～8日（3泊4日）

IV 地域文化の継承と創造

☆芸術文化振興事業

(1) 風連文化祭

市民が行っている各種文化活動について発表の場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、市民交流の中から文化の創造を促し、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催する。

風連文化協会を中心とした実行委員会を組織して実施します。

◇芸能発表会 11月3日(木・祝)

◇作品展示等 11月2日(水)～3日(木)

(2) 関係団体に対する負担金・補助金

①風連御料太鼓補助金 59,000円



ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」

Ⅳ 名寄市智恵文公民館の事業計画

1 名寄市がめざす生涯学習社会の形成

☆文化活動拠点施設整備事業

(施設概要)

(1) 智恵文公民館 (智恵文多目的研修センター)

① 所在地 名寄市字智恵文 4471、4191 番地 (TEL 01654-8-2101)

② 開設年月日 昭和55年1月1日

③ 主要施設

・大集会室	264.0 m ²	・和室	43.5 m ²
・調理実習室	46.2 m ²	・図書閲覧室	
・研修室 (老人室)	50.7 m ²	・研修室	43.5 m ²

④ 利用案内

・開館時間 午前9時～午後10時

・休館日 毎月末日 (ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日)
年末年始 (12月30日～1月5日)

☆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

(1) 情報提供と相談体制の整備

① 広報誌「ちえぶん」の発行による情報提供

毎月の地域情報、保育所・小学校・中学校の行事等を掲載し、地域へ発信

(2) 学習要求に応える公民館活動

① 友朋学級 (高齢者学級) の開講

地域の65歳以上の希望者を対象に、手工芸・講話・軽運動・小中学校との交流などの講座を開催

② 分館事業の支援

智北・八幡・智南の各分館において、主に農閑期に料理教室・手芸教室・レクリエーション大会などを実施 (智西分館は平成23年度休館)

(3) 世代間交流の促進

① オセロ・餅つき大会の実施 12月下旬予定

地域の小中学生と高齢者がふれあい、日本の伝統文化を体験

2 家庭教育支援の推進

☆家庭と地域の教育力の向上

(1) 親子の絆を深める場の提供

① 親子書き初めの実施 1月初旬予定

作品は一定期間智恵文多目的研修センターに展示

☆関係機関・団体とのネットワークづくり

(1) 家庭、学校、地域、関係機関、団体との事業連携

①各種スポーツ大会の支援

智恵文地区ミニバレーボール大会 2月初旬予定

智恵文・名寄 歩くスキー交流会 2月初旬予定

②趣味の作品展示会の開催 2月初旬予定

「ちえぶん健康まつり」の共催として、地域住民が制作した手芸・陶芸・書道・写真などを展示

3 青少年の健全育成

☆青少年の健全育成事業

(1) 子ども会活動の促進援助

①智恵文子ども会雪中運動会の共催 2月中旬予定

地域の子どもたちが、雪中でのゲーム・スポーツを通して交流

4 地域文化の継承と創造

☆芸術文化振興事業

(1) 各種講座・教室などの開設と内容充実

①書道講座の開設

地域住民を対象に毎週木曜日開催

v 平成 23 年度スポーツ振興事業計画

生涯スポーツの振興（主要施策）

市民皆スポーツを目指し、生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流を深め、健康の維持・増進が図られるようスポーツ施設の整備・改修や管理運営の充実に努めます。

スポーツ団体の育成、指導者の育成・確保、スポーツ教室・各種スポーツ大会の支援・充実などを体育協会、地域スポーツクラブと協力して進め、スポーツ情報の収集・提供に努めます。

1 スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持・増進ができるよう施設の整備や効率的な利用の促進を図るとともに有効な利用方法を検討します。

（1）維持管理

・名寄地区（指定管理者制度）

① 一般財団法人名寄市体育協会（10 施設）

名寄市スポーツセンター、名寄市営球場、名寄市営サブ球場、名寄市テニスコート、名寄公園テニスコート、名寄市営南水泳プール、名寄市営智恵文水泳プール、名寄市 B & G 海洋センター、名寄市北体育館、名寄市ピヤシリシャンツェ

② 株式会社名寄振興公社（1 施設）

体育センターピヤシリ・フォレスト

（2）施設整備

① スポーツセンター通路周辺レンガ改修整備

② ピヤシリシャンツェ人工降雪機賃貸借（H20～25 年度迄）

③ キャリングアンプ用ワイヤレスマイク・チューナー購入

④ スポーツセンターランニングマシーン購入

2 スポーツ振興事業

（1）各種スポーツ大会の開催及び支援

スポーツ大会の開催及び各種スポーツ大会を支援、協力します。

① 憲法記念ロードレース（主催）／5 月 8 日	400 千円
② 名寄～下川間往復駅伝競走（主催）／6 月 5 日	240 千円
③ 名寄市民スキー大会（主催）／2 月下旬	840 千円
④ 名寄ピヤシリジャンプ大会（共催）／12 月中旬	855 千円
⑤ 名寄ピヤシリ歩くスキー大会（共催）／3 月 4 日	855 千円
⑥ ピヤシリカップカーリング大会／3 月下旬	50 千円
⑦ クロスカントリー名寄大会／12 月下旬	225 千円
⑧ サンピラー国体開催記念サマージャンプ大会／7 月下旬	585 千円
⑨ 市民水泳大会／8 月下旬	50 千円
⑩ 名寄あかげらロードレース／9 月 23 日	90 千円
合計	4,190 千円

(2) 関係団体に対する補助金等

スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します。

① 名寄市体育協会補助金	3,000 千円
② プールパトロール補助金	250 千円
③ 市営スケートリンク設置負担金	1,750 千円
④ B & G 体験セミナー・クルーズ参加負担金	386 千円
⑤ 北海道 B & G 海洋センター連絡協議会負担金	40 千円
⑥ 上川北部広域スポーツクラブ負担金	50 千円
⑦ 上川管内体育指導委員協議会負担金	51 千円
合計	5,527 千円

(3) 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、多くのスポーツ活動の場を提供します。

- ① 名寄地区小学校（7校）：名寄小学校、名寄南小学校、名寄東小学校、名寄西小学校、
豊西小学校、中名寄小学校、智恵文小学校
- ② 名寄地区中学校（3校）：名寄中学校、名寄東中学校、智恵文中学校

(4) スポーツフェスティバル等の開催

スポーツフェスティバル等を開催し、新しいスポーツや軽スポーツなどの紹介・体験等を通じ、市民にスポーツ情報とスポーツに親しむ場を提供します。

(5) 総合型地域スポーツクラブの拡大

上川北部広域スポーツクラブ（中川町、音威子府村、美深町、名寄市、下川町5市町村 H21.12.21 設立）の活動を通じて、冬季スポーツにおける子どものタレント発掘・育成と交流を図ります。

(6) 指導者の育成強化

体育指導委員や体育協会等と協力し、スポーツ人口の拡大を図るとともに、指導者の育成・確保を図ります。

(7) スポーツ合宿の誘致、受け入れ

交流人口の拡大と地域の活性化を図るために、陸上・サッカー・スキーなど、夏冬を通した円滑な受け入れに取り組んでまいります。

3 平成 23 年度スポーツ教室開設計画

○スポーツ教室の開催

教室名	対 象	開催回数	募集人数
チビッ子トランポリン教室Ⅰ	1 歳 ～ 小 2	5	20
キッズエアロビクス教室Ⅰ	1 歳 ～ 未就学児	3	15
キッズエアロビクス教室Ⅱ	1 歳 ～ 未就学児	3	15
エアロビクス教室Ⅰ	一 般	5	20
エアロビクス教室Ⅱ	一 般	5	20
バランスボール体操教室	一 般	5	20
太極拳教室Ⅰ	一 般	5	30
太極拳教室Ⅱ	一 般	5	30
ヨーガ教室Ⅰ	一 般	5	30
ヨーガ教室Ⅱ	一 般	5	30
ボクササイズ教室Ⅰ	一 般	5	15
ボクササイズ教室Ⅱ	一 般	5	15
エアロビクス教室Ⅰ	一 般	5	20
エアロビクス教室Ⅱ	一 般	5	20
水中エアロビクス教室	一 般	5	30
夜間水中エアロビクス教室Ⅰ	一 般	5	30
夜間水中エアロビクス教室Ⅱ	一 般	5	30
初心者ゴルフ教室	一 般	7	15
ステップエクササイズ教室	一 般	5	20
チューブエクササイズ	一 般	5	20
腰痛予防教室	一 般	5	20
健康体操教室	一 般	5	20
合 計		108	485

○風連スポーツクラブ「ポポ」のスポーツ教室

教室名	対 象	開設日数	募集人数
フラダンス教室	一 般	3	20
ジュニア水泳教室	小学生	3	50
親子水遊び教室	親子	5	10
クロスカントリー大会	小・中・高・一般	1	50
体力テスト	小・中・高・一般	1	100
ジュニアトランポリン教室	小学生	4	20
親子スキー教室	幼児・保護者	5	10
ジュニアスキー教室	小学生	3	40
スキー場まつり	小・中・高・一般	1	100
合 計		26	400

○平成 22 年度スポーツ教室開催事業実績

教 室 名	開 催 期 間	開催 回数 (回)	受講者 延数人	指導者 延数人
チビッ子トランポリン教室Ⅰ	5 月 24 日 ～ 7 月 26 日	6	134	16
初心者ゴルフ教室	5 月 29 日 ～ 7 月 18 日	7	106	14
水中エアロビクス教室	6 月 16 日 ～ 7 月 21 日	5	44	5
夜間水中エアロビクス教室Ⅰ	6 月 18 日 ～ 7 月 16 日	5	68	5
太極拳教室Ⅰ	6 月 22 日 ～ 7 月 27 日	5	31	5
エアロビクス教室Ⅰ	6 月 25 日 ～ 7 月 23 日	5	60	5
青竹エクササイズ教室	7 月 1 日 ～ 7 月 29 日	5	18	5
夜間水中エアロビクス教室Ⅱ	8 月 20 日 ～ 9 月 17 日	5	35	5
足腰ちょ筋体操教室	8 月 25 日 ～ 9 月 22 日	5	16	5
太極拳教室Ⅱ	10 月 19 日 ～ 11 月 16 日	5	49	5
バランスボール体操教室	10 月 20 日 ～ 11 月 24 日	5	25	5
ボクササイズ教室	11 月 4 日 ～ 12 月 2 日	5	59	5
エアロビクス教室Ⅱ	11 月 5 日 ～ 12 月 3 日	5	49	5
キッズエアロビクス教室	11 月 5 日 ～ 12 月 3 日	5	79	5
ヨーガ教室	1 月 21 日 ～ 2 月 25 日	5	142	5
合 計		78	915	95

○平成 22 年度風連スポーツクラブ「ポポ」スポーツ教室実績

教室名	開設時期	開設 日数	受講者 延人数	指導者 延人数
ジュニア初級・中級水泳教室	7 月 10 日 ～ 8 月 7 日	3	140	50
親子水遊び教室	7 月 25 日	1	8	2
クロスカントリー大会	9 月 18 日	1	10	5
フラダンス教室	10 月 12 日 ～ 10 月 26 日	3	48	4
体力テスト	11 月 27 日	1	67	20
ジュニアトランポリン教室	12 月 11 日 ～ 2 月 26 日	4	28	8
幼児トランポリン教室	1 月 15 日 ～ 2 月 5 日	4	56	16
ジュニアスキー教室	12 月 23 日 ～ 12 月 26 日	3	62	24
スキー場まつり	2 月 26 日	1	55	10
合 計		16	316	82

4 平成 22 年度学校開放事業

※平成 22 年度学校開放事業利用状況（名寄地区）

学校名	利 用 日 数 (日)			利 用 者 数 (人)			利 用 平 均 (人/1 日)	
	21 年度	22 年度	前年比	21 年度	22 年度	前年比	21 年度	22 年度
名寄小	221	250	113%	4,316	4,747	110%	19.5	19.0
名寄南小	223	195	87%	2,543	2,344	92%	11.4	12.0
名寄東小	193	0	0%	2,140	0	0%	11.1	0.0
名寄西小	277	275	99%	3,218	3,546	110%	11.6	12.9
豊西小	130	141	108%	1,739	2,408	138%	13.4	17.1
中名寄小	62	30	48%	275	96	35%	4.4	3.2
智恵文小	26	64	—	567	1,263	—	—	19.7
名寄中	270	268	99%	3,645	3,141	86%	13.5	11.7
名寄東中	247	237	96%	3,885	3,643	94%	15.7	15.4
智恵文中	32	21	—	362	234	—	—	11.1
大学 恵陵館	20	0	0%	254	0	0%	12.7	0.0
大学 本 館	44	41	93%	693	574	83%	15.8	14.0
計	1,745	1,522	87%	23,637	21,996	93%	13.5	14.5

※平成 22 年度学校開放事業利用状況（風連地区）

	利用日数			利用人数			平均利用人数	
	21 年度	22 年度	前年比	21 年度	22 年度	前年比	21 年度	22 年度
風連中央小	190	195	103%	3,320	3,619	109%	17.5	18.6
下多寄小	85	62	73%	1,023	660	65%	12.0	10.6
東風連小	118	152	129%	1,060	1,509	142%	9.0	9.9
日進小中	28	31	111%	359	331	92%	12.8	10.7
計	421	440	105%	5,762	6,119	106%	13.7	13.9

5 平成 23 年度各種大会開催予定

(1) 名寄市（教育委員会）が主催・主管する大会

大会名	主催・主管 競技団体名	参加 予定 数	開催 時期	会場
第 59 回憲法記念 ロードレース	名寄市教育委員会	276 人	5 月 8 日	なよろ健康の森 陸上競技場
第 39 回名寄～下川間 往復駅伝競走	名寄市教育委員会 下川町教育委員会	43 チーム	6 月 5 日	名寄市～下川町間
第 33 回名寄市民スキー大会	名寄市民スキー大会実行委員会 (名寄市、名寄市教育委員会、名寄地方スキー連盟)	200 人	2 月下旬	名寄ピヤシリスキー場

(2) 名寄市（教育委員会）と競技団体が共催する大会

大会名	主催・主管 競技団体名	参加 予定 数	開催 時期	会場
第 42 回名寄ピヤシリ ジャンプ大会	名寄地方スキー連盟 北海道新聞社	160 人	12 月	ピヤシリシャンツェ
第 30 回名寄ピヤシリ 歩くスキー大会	名寄歩くスキー協会	600 人	3 月	なよろ健康の森

(3) 関係競技団体が主催・主管する大会

大会名	主催・主管 競技団体名	参加 予定 数	開催 時期	会場
サンピラー国体記念 第 9 回サマージャンプ大会	名寄地方スキー連盟	150 人	7 月	ピヤシリシャンツェ
第 27 回あかげらロードレース	道北陸上競技協会名寄支部	100 人	9 月 23 日	なよろ健康の森 陸上競技場
平成 23 年度市民水泳大会	名寄水泳協会	60 人	9 月	名寄市営南水泳プール
第 17 回クロスカントリー 名寄大会	名寄地方スキー連盟	400 人	12 月	なよろ健康の森
第 24 回ピヤシリカップ カーリング大会	名寄カーリング協会	150 人	3 月	サンピラー交流館 カーリングホール

(4) 風連スポーツクラブ「ポポ」が主催する大会等

大会名	前年度 参加者数	開催月	会場
クロスカントリー大会	10	9 月	風連緑町公園
体力テスト	67	10 月	風連 B & G 海洋センター等
スキー場まつり	55	2 月	風連スキー場

vi 市内体育施設

1 名寄市スポーツセンター

(1) 所在地 名寄市西7条南12丁目55番地134 (TEL 3-6627・3-6628 FAX 3-8671)

(2) 開設年月日 昭和50年4月1日
(平成5年増築)

(3) 主要施設 敷地面積 17,270 m²
建物 4,297.95 m²
鉄筋コンクリート一部鉄骨造り2階建
1階 3,234.52 m² 2階 1,063.43 m²

アリーナ 1,484.40 m² (42m×35m)
第1体育室 237.60 m² ロビー 264.30 m²
幼児体育室 91.20 m² 第2体育室 511.20 m²
研修室 70.40 m² シャワー更衣室 76.16 m²
事務室 73.41 m²
観覧席 (固定席 300人、立見席 300人、移動席 2,300人)
駐車場 350台 (172m×55m)

(4) スポーツ設備

バスケットボール	2面	バドミントンコート	10面
バレーボール (9人制)	2面	卓球コート	20台
〃 (6人制)	3面	テニスコート	2面
柔道	50畳×2面	トランポリン等体操用具他	
体力測定器具	一式	トレーニング器具	一式

(5) 利用案内

開館時間 日曜日及び国民の祝日 午前9時～午後5時
上記以外の日 午前9時～午後9時

休館日 ①年末年始 (12月30日～1月5日)
②毎月末日
③但し、毎月の末日が土曜日・休日にあたる時は、その直近日

利用料 個人使用の時間帯区分を
午前 (9:00～12:30)
午後 (13:30～17:00)
夜間 (18:00～21:00)
の3段階とし、使用料を徴する。

2 その他施設

(1) 名寄地区

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄市北体育館	東1条 北6丁目	H元. 4. 1	木造モルタル一部2階建 1階 583.20 m ² 2階 87.48 m ² 670.68 m ²	体育室、研修室 更衣室、管理室 スポーツ施設 バドミントン 4面 バレーボール 1面 ゲートボール 1面 テニス 1面 卓球、弓道	開館時間 9:00～ 21:00 ※日曜日 9:00～ 17:00
名寄市B&G 海洋センター	西4条 北8丁目	H 2. 5. 31	上屋シート、夜間照明 プール（ステンレス製） 6コース 25m×13m 幼児用 10m×6m	事務室、医務室 更衣室、シャワー トイレ、機械室、 薬品室	5月中旬 ～ 10月下旬
名寄市営 南水泳プール	西7条 南12丁目	S48. 8. 14 H19. 5. 19 (改築)	鉄筋コンクリート造 FRP製 6コース 25m×13m 幼児用 13m×4.5m	循環装置、更衣室 シャワー、事務室 ミーティングルーム 機械室、トイレ 照明施設、駐車場	5月中旬 ～ 10月下旬
名寄市営 智恵文水泳プール	智恵文 11線 北2番地	S51.10. 1 H 5. 6. 30 (改修)	鉄筋コンクリート造 鋼鉄製上屋シート付 ビニールシート張 5コース 25m×11m (1コース幼児用)	管理棟、循環装置 更衣室、シャワー 管理人室、機械室 トイレ 照明施設 2基	6月中旬 ～ 9月下旬
名寄市営球場	東2条 南11丁目	S42. 7. 1 S55.11. 30 (改修) H 7.11. 16 (改修)	敷地面積 17,216 m ² レフト・ライト 90m センター 110m メインスタンド 200人 内野スタンド 300人 外野芝生席 4,500人	バックネット 1基 ダッグアウト 2カ所 スコアボード 1基 用具室 2カ所 役員室 1カ所 管理棟 1棟	5月上旬 ～ 10月下旬 有料
名寄市営サブ球場	緑丘	S50.10. 1 S56.11. 1 (改修)	敷地面積 13,200 m ² レフト・ライト 90m センター 110m	バックネット 1基 用具庫 1カ所	5月上旬 ～ 10月下旬
名寄公園 テニスコート	緑丘	S43.11. 1 H 5. 9. 20 (改修)	グリーンサンドコート 2面	用具室、トイレ	5月上旬 ～ 11月上旬
名寄市 テニスコート	西7条 南12丁目	S54.10. 31 H 2. 8. 25 H16. 9. 1 (改修)	グリーンサンドコート 4面 オムニコート 4面	管理棟、更衣室 トイレ 夜間照明施設 (H 3. 8. 15)	有料
ゲートボール場	西7条 南12丁目	H 2. 6. 28 H 8. (増設)	コート 18m×70m 6面		4月下旬 ～ 10月下旬
土俵	西7条 南12丁目	H 3. 8. 4	入母屋造り、銅板葺き		
カーリングリンク	日進 サピラー 交流館内	H18.11.11	シート 5面		11月上旬 ～ 3月下旬

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄 ピヤシリスキー場 S63. 6. 24 FIS 公認	日進	S48. 12. 29	面積 67. 05ha 駐車場 1, 000 台収容 最高斜度 35 度 平均斜度 18. 3 度 全長 2, 000m	第 1 リフト 696m 第 2 リフト 406m 第 3 リフト 442m ロマンズリフト 1, 395m ロッジ 116 人収容 管理棟 1 パトロール詰所 1 児童生徒休憩所 1 無料休憩所 2	12 月上旬 ～ 4 月上旬
名寄市 ピヤシリシャンツェ ノーマルヒル K90 公認	日進 91・ 97 林班	H14. 10. 1	鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度 35 度 ランディングバーン 最高斜度 36. 5 度	ジャッジハウス 2 スノーメイキング システム、 夏冬兼用シングル リフト 224m (H5. 11. 24) 管理棟、トイレ サマー設備 機械室 1 棟 パイプライン 268m	夏期間 4 月下旬 ～ 10 月上旬 冬期間 12 月上旬 ～ 3 月末日
名寄市 ピヤシリシャンツェ ミディアムヒル K65 公認	日進 91・ 97 林班	H 6. 11. 30	施設総面積 32, 444ha 鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度 30 度 ランディングバーン 最高斜度 35. 5 度 全長 212. 5m アプローチ 62. 0m ランディングバーン 114. 8m アップヒル 52. 8m		
名寄市営 スケートリンク	西 13 条 南 4 丁目	S46. 12. 1	スピードリンク 1 周 250m、幅 10m	管理棟（事務室） 休憩室 夜間照明	12 月下旬 ～ 2 月中旬
天塩川緑地	天塩川 左岸	S57、S58 S56、S61	野球場（A・B） 2 面 サッカー場、ラグビー場		5 月上旬 ～
	天塩川 右岸	S60、S61 H1、 S63 S63 H14	ソフトボール場 4 面 グラウンドゴルフ場 18 ホール サイクリングロード 2. 2 km ヘルスビートコース パークゴルフ場 18 ホール		10 月下旬
名寄川緑地	名寄川 左岸	S62 H6	ゲートボールコート 2 面 パークゴルフ場 18 ホール		5 月上旬 ～ 10 月下旬
陸上競技場	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 26	1 周 400mクレートラック	管理棟（事務室）	5 月上旬 ～ 10 月下旬
えんれい パークゴルフ場	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 24	18 ホール 1. 9ha		5 月上旬 ～ 10 月下旬
あかげら パークゴルフ場	日進 なよろ 健康の森	H12. 5. 16	18 ホール 1. 9ha		有料
名寄公園 パーク ゴルフ場	緑丘 17 線	H14. 6. 8	18 ホール 1. 1ha	管理棟、トイレ 駐車場 35 台 駐輪場 20 台	

(2) 風連地区

施設名	所在地	開設年月 日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄市風連スキー場	風連町 字西風連	S45	面積 77,146 m ² 最大斜度 17 度 平均斜度 11 度	ヒュッテ 123.1 m ² ミニリフト 300m ヒュッテ 92.26 m ²	12 月中旬 ～ 3 月上旬
名寄市営風連球場	風連町 字中央	S54	球場面積 12,451 m ² レフト・ライト 90m センター 110m 収容人数 2,000 人	バックネット 1 基 ダックアウト 2 ヶ所 スコアボード 1 基 用具室 4 ヶ所 役員室 1 ヶ所 トイレ 1 ヶ所	5 月上旬 ～ 10 月下旬
名寄市風連東地区運動広場テニスコート	風連町 新生町	S62	ハードコート 4 面	夜間照明施設 用具室	5 月上旬 ～ 10 月下旬
名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場	風連町 新生町	H13	9 ホール 1.4ha		5 月上旬 ～
名寄市風連東地区運動広場簡易パークゴルフ場	風連町 新生町	H11 H22	18 ホール 9 ホール芝生化 (残り 9 ホールの芝生化は H24 予定)		10 月下旬
名寄市風連 B & G 海洋センター	風連町 新生町	H 元	第 1 体育館 726.15 m ² 第 2 体育館 456.30 m ² プール 6 コース 幼児用プール 69 m ²	駐車場 80 台収容	
名寄市風連農村環境改善センター	風連町 新生町	S59	多目的ホール 382.90 m ²		
海洋クラブ艇庫	風連町 字池の上	H2	カヌー 7 艇 ペアカヌー 2 艇 ローボート 2 艇 ヨット 4 艇		
名寄市風連サンシャインホール	風連町 字旭	H5	アリーナ 441.98 m ²		

vii 名寄市児童センター

市民のこころ豊かな人づくりを目的に、名寄市児童センター及び風連児童会館では、児童が放課後等に遊びやスポーツに親しみ、各行事や体験活動を通して健康を増進し情操を豊かにする自由来館型の安心で安全な居場所として設置しています。

また、放課後児童対策として、保護者が就労等によって昼間家庭が留守になる環境にある児童の健全育成と安全な生活の場所を確保するため、名寄市南児童クラブ及び風連児童クラブを設置しています。児童センターの施設面では、平成 23 年度で児童室の移設に伴う一部改修を行うことで、建物の主な機能を 1 階が児童センター、2 階が教育相談センターとして活用されます。

一方、利用者が増加傾向にある南児童クラブでは、児童室の一部拡張工事等を行い施設の充実を図ります。

また、風連児童会館及び風連児童クラブは、平成 22 年度に分離することで、解体する旧風連福祉センターの研修室の改修工事を行い、環境が充実し児童クラブとして活用しています。平成 23 年度からは、合併特例区の解散に伴い所管を児童センターに移行しました。

1 平成 23 年度基本目標

設置されている機関相互の特性を生かして、学校及び地域との連携を強化し、青少年の健全育成と、子育て支援として子育て親子の利用を促進し、社会教育施設としての充実と利用しやすい環境の醸成に努める。

2 平成 23 年度運営方針

- ②「施設のより安心安全な環境と機能充実
- ② 子育て支援、子育て交流の場の利用促進
- ③ 児童センター及び児童クラブの充実を目指し、保護者と共有した運営

3 平成 23 年度事業計画

月	児童センター	南児童クラブ	風連児童会館	風連児童クラブ
4	進級おめでとう会 母の日プレゼント作り	◎毎月の行事 折り紙教室	◎毎月の行事 みるぶつく（読書・読み聞かせ）	◎児童会館の各種行事は 一緒に連携して行う
5	チャレンジデー参加	工作教室	工作教室	バス遠足
6	父の日プレゼント作り 花壇作り（環境整備）	将棋教室 ～10 月 お誕生会	キャンディ（DVD 鑑賞）	
7	七夕会	◎季節の行事	◎季節の行事	
8	夏のお楽しみ会	南児童クラブ入会式	歓迎会	粘土で作ろう（陶芸）
9	敬老の日プレゼント作り バス遠足	子どもの日お祝い会 チャレンジデー参加	レクリエーション たんざく作り	
10	ハロウィン特別行事	七夕会	七夕まつり	バス遠足
11	ブレイクダンス教室	夏のお楽しみ会	児童会館祭り	
12	クリスマスおもちゃつき会	こままわし大会 クリスマス会	おもちゃのつどい お正月飾り作り	クリスマス会
1	冬休み料理教室・節分	節分行事	豆まきのつどい	新年お楽しみ会
2	お菓子作り教室 ひなまつり	ひなまつり会	おひなまつり会	粘土で作ろう（陶芸）
3	春休みお楽しみ会	進級お祝いお別れ会	お別れ会	

【児童センター】

- (愛称「ほっと21」)

(3) 主要施設 ・ 延床面積 838 m²

・解体部分

(4) 利用案内

- 【風連児童会館】

- (2) 開設年月日 昭和50年12月1日

- (4) 利用案内

- ・開館時間（図書館風連分館）午前9時30分～午後5時（平日）、午前9時30分～午後4時（土曜日）
・休館日 日曜日・国民の祝日・毎月末日・年末年始（12月30日～1月5日）

【南児童クラブ】

- (2) 開設年月日 平成10年4月1日

- #### (4) 利用案内

- 53

【風連児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市風連町南町 85 番地の 2

(2) 開設年月日 平成 10 年 4 月 1 日

(3) 主要施設

- ・延床面積 142.80 m²
- ・児童室 46 m²
- ・遊戯室 46 m²
- ・トイレ他 50.8 m²

(4) 利用案内

・開館時間 平日 下校時～午後 6 時 30 分

土曜日・長期休業日 午前 8 時 30 分～午後 6 時 30 分

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

5 利用状況

【旧女性児童センター】

旧女性センター

(単位：人)

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
ロビー	391	810	456	497	390
講習室	3,634	3,844	3,477	2,995	1,641
第 1 和室	3,915	4,209	4,052	3,626	1,035
割烹室	324	241	114	275	221
相談室	288	266	271	189	139
研修室	1,837	2,202	2,143	1,522	442
適応指導教室	2,486	320	367	490	324
第 2 和室	118	159	222	114	6
合計	12,993	12,051	11,102	9,708	4,198
開館日数	308	308	308	303	305
1 日当り利用者数	42.2	39.1	36.0	32.0	13.7

旧児童センター（児童室・体育室）

(単位：人)

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
団体利用	13,705	14,286	13,650	12,254	7,537
小学生	3,713	2,815	3,567	3,570	2,645
中学生	242	143	123	129	91
高校生	76	61	35	167	19
一般	484	222	327	339	230
合 計	18,220	17,527	17,702	16,459	10,522
開館日数	288	292	295	289	296
1 日当り利用者数	63.3	60.0	60.0	56.9	35.5

viii 名寄市青少年センター（名寄市児童センター内）

1 平成 23 年度活動方針

名寄市内の青少年の健全育成を目指し、日常的には巡視・指導活動を通して子どもの理解と非行の未然防止に努める。各学校・警察署・青少年健全育成諸団体と連携を図り、地域住民の協力を得ながら見守り、声かけを組織的・計画的に推進していきます。

なお、本年度は、合併特例区の解散により風連地区の 14 名が青少年センター指導員に委嘱されました。

2 平成 23 年度活動内容

- ① 指導及び巡視（一般巡視、特別巡視、下校時に合わせた指導巡視）
- ② 広報活動と地域活動の推進（青少年健全育成標語の募集等）
- ③ 環境浄化運動（有害環境にかかる市内店舗立入調査・監視）
- ④ 指導員の研修（情報交換等）
- ⑤ 青少年表彰（市内在住の青少年で、顕著な功績があった団体、個人を表彰する）

3 平成 23 年度事業計画

月	事業	月	事業
4月	・春休み特別巡視 ・一般巡視	10月	・青少年健全育成標語募集 ・一般巡視
5月	・名寄市青少年センター指導員委嘱状交付式（風連） ・名寄市青少年問題協議会 ・一般巡視（夜巡視）	11月	・全国青少年健全育成強調月間に連動した活動 ・合同研修会（センター指導員、名寄警察署補導員、保護司会） ・標語入選者表彰式・標語ポスター配布掲示依頼 ・一般巡視
6月	・青少年表彰推薦依頼（高校・大学・企業団体） ・一般巡視（夜巡視） ・列車添乗巡視	12月	・一般巡視
7月	・北海道青少年健全育成条例に基づく立入調査 ・社会を明るくする運動（キャラバン隊参加、ふれあい広場参加） ・一般巡視（夜巡視）	1月	・冬休み特別巡視 ・一般巡視
8月	・夏休み特別巡視（名寄・風連地区祭典会場） ・一般巡視（夜巡視）	2月	・名寄市青少年問題協議会 ・一般巡視
9月	・一般巡視（夜巡視） ・青少年表彰選考委員会 ・青少年表彰式	3月	・一般巡視

ix 名寄市教育相談センター（名寄市児童センター内）

名寄市教育相談センターは、教育上の諸問題に対する指導、助言等を行うために設置しています。電話等により児童生徒やその保護者の相談に対応する「ハートダイヤル」の運営や不登校及びその傾向にある児童生徒に関して支援する「適応指導教室」を開設しています。

平成23年度からは、教育推進アドバイザー1名を配置して、より学校生活における問題への対応と教職員並びに関係機関との連携を図っていきます。

また、本年度から定期的（毎月第2・第4木曜日）にセンターの夜間開放を行い、軽スポーツ・調理実習・季節の行事などで、ひきこもりの解消や相談に対応をしていきます。

1 適応指導教室

不登校となった児童生徒に対し、適応指導教室への通室などにより、学校復帰や自立支援に向け、学習や多くの体験活動等の支援や指導を行う。適応指導教室は、学校への出席として扱われる。

平成22年度入室者数（実人員）

小学生	中学生	合計
2	2	4

2 ハートダイヤル

「ハートダイヤル」は、いじめ・引きこもり・不登校・落ち込み・イライラなど子供たちや保護者の多様化する悩みに対し、電話相談・面談を通して、その悩む心を和らげ自立する心を育むため開設しています。

	相 談 者							相 談 区 分															合 計	
	保護者	小学生	中学生	高校生	一 般			暴力行為・非行一般	いじめ	不登校	怠学	学業・進路問題	親子関係（含家庭環境）	異性関係	性に関わる問題	生活一般	学校の対応（含教師関係）	健康問題	友人関係	育児・子育て	しつけ	その他		
					学校関係者	関連機関職員等	その他																	
電話	39	0	6	1	8	0	63	117	1	0	31	0	3	6	3	2	50	4	3	0	2	1	11	117
面談	33	15	33	7	24	9	9	130	1	3	60	0	6	3	0	0	3	4	0	0	0	0	4	84
全体数	72	15	39	8	32	9	72	247	2	3	91	0	9	9	3	2	53	8	3	0	2	1	15	201

・この他に、電話・面談以外の相談活動や、学校・家庭訪問等の訪問活動が143件

3 教育相談アドバイザー

- ①いじめ・不登校・非行事項等に係わる情報の共有に関すること
- ②必要に応じた教職員等の面談やケース検討会議のコーディネート、学校への定期的訪問に関すること
- ③家庭や地域との連携～必要に応じた訪問や相談等に関すること
- ④教職員並びに関係機関との連携に関すること

X 名寄市北国博物館

北国博物館は、北海道の北部に位置し、寒冷・多雪な冬と年間の気温差が60度を超える寒暖差がある名寄市の自然と歴史に学び、その知恵を発展させて今後の暮らしに生かしていく拠点として設置されました。厳しい自然の中で育まれてきた先人の知恵を体験しながら、学び伝承するとともに、マイナスイメージの強かった「北国」のイメージを楽しみや親しむ心を持って、プラス志向で新しい北国文化を創造していくことを運営の指針としております。

1 平成 23 年度重点目標

- ・ 「名寄の自然と風景」「名寄の歴史を学ぶ」をテーマとした展示会の開催

2 平成 23 年度事業計画

月	展示会	観察会	その他
4月	及川幸雄絵画展「森林の存在展」 小動物写真二人展「道北の森に躍動する生命」		GW企画「博物館であそぼう」（イベント）
5月	野外植物展	春の自然探し（観察クラブ）	
6月	森の神 シマフクロウ（巡回展） なつかしの建物水彩画展Ⅱ（企画展）	親子新緑ハイキング（観察クラブ） 自然探訪会（一般対象）	
7月		川エビと黒曜石を探そう（観察クラブ）	
8月	花に集まる虫たち（特別展）	昆虫採集に行こう（夏休み活動）	
9月	風花会員作品展	ヤマベ釣り体験（観察クラブ）	
10月	MOA児童作品展 藤倉英幸「北の風物語」（巡回展）	親子野外クッキング（観察クラブ）	藤倉英幸講演会
11月		キャンドル作り（観察クラブ）	アイヌ文化講座 アイヌ語地名講演会
12月	アイヌ語地名を歩く（企画展）	いも版作り（観察クラブ）	
1月		勾玉作り（冬休み活動） 森のたんけん隊（冬休み活動）	
2月	名寄の酒造り（特別展）		雪あかりコンサート
3月	棚橋美術教室作品展 新着資料展（企画展）		雪と遊ぼう（体験学習）

3 常設展示内容（面積：570 ㎡）

<テーマ>

北海道の北部に位置し、多雪・寒冷そして明瞭な四季の変化のある「名寄」で繰り広げられてきた自然と歴史について学び、未来へその知恵を継承発展させる。

○北国名寄・・・・・・・・・・・・・どうして多雪・寒冷なのか

○北の先史・・・・・・・・・・・・・氷河期後の人間の暮らし

○カムイの森・・・・・・・・・・・・・冬の森を通してみたアイヌの自然と文化

○さむさ・ひと・くらし・・・・・生活資料からたどる雪・寒さとの関わりあいの歴史

○映像コーナー・・・・・・・・・・・・・3面マルチスクリーンによる細氷現象を中心とした北国の四季の移ろいの上映と名寄市の花・鳥・木や指定文化財を紹介する情報検索など

○郷土コーナー・・・・・・・・・・・・・国指定天然記念物「鈴石」「高師小僧」、アイヌの伝承者「北風磯吉」、名寄が生んだ名力士「名寄岩」

4 資料保有数

区 分	地 学	生 物	考 古	民 族	生 活	産 業	文献記録	合 計
H20末保有数	4,273	2,780	84,194	526	9,814	6,924	4,095	112,606
H21末保有数	4,273	2,780	84,195	526	10,056	12,432	4,154	118,416
H22末保有数	4,274	2,781	84,238	526	10,343	12,470	7,086	121,718

5 北国博物館施設概要

（1）所 在 地 名寄市字緑丘 222 番地（TEL 兼 FAX 3-2575）

（2）開館年月日 平成 8 年 2 月 10 日

（3）主 要 施 設

延 床 面 積 2,099 ㎡（1 階 1,655 ㎡・2 階 444 ㎡）

1 階

エントランスホール	114㎡
ギャラリーホール	154㎡
第 1 収蔵庫	60㎡
第 2 収蔵庫	177㎡

2 階

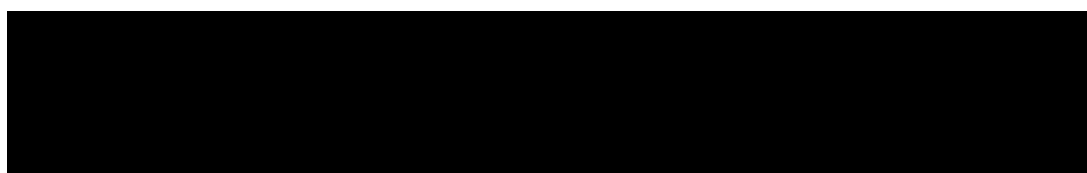
地域情報室	72㎡
講 堂	107㎡
書 庫	42㎡
研 究 室	130㎡

6 利用案内

開 館 時 間 午前 9 時～午後 5 時

休 館 日 毎週月曜日・年末年始

観 覧 料



※ 団体は 10 名以上

7 資料受入状況

年 度	寄 贈		採 集		収 集 (購入)		計 (点数)
	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
18	41	719	2	11	0	0	730
19	29	472	1	2,587	0	0	3,059
20	46	1,076	0	0	0	0	1,076
21	31	5,810	0	0	0	0	5,810
22	30	3,294	0	0	1	8	3,302

8 施設利用状況

年度	個 人			団 体			行事、他	利用者
	幼中小	高校・一般	免 除	団 体	見学学校等	視 察	人数	総 計
18	1,007	1,478	567	221	478	308	8,987	13,046
19	1,219	1,461	350	164	489	105	8,462	12,250
20	1,024	1,494	363	185	540	90	8,494	12,190
21	1,195	1,509	465	167	400	204	9,417	13,357
22	1,046	1,649	404	351	655	51	8,058	12,214

9 文化財一覧

(1) 国指定文化財

名称	所在地	指定面積	指定年月日	説明
天然記念物 名寄鈴石	緑丘109-4	4 0 a	昭和14年 9月7日	核となる粘土などに鉄分が殻のように巻き付いてできた褐鉄鉱の一種。拳ほどの大きさで、振ると音がするので「鈴石」と呼ばれる。
天然記念物 名寄高師小僧	瑞穂	2 3 a	昭和14年 9月7日	湿地に生育する植物の根などに鉄分が巻き付いてできた沼鉄鉱の一種。管状の形が多い。愛知県豊橋市高師ヶ原に多産。
名勝 九度山 (クツクスアリ)	日進・ 智恵文	5 2 2 a	平成21年 7月23日	アイヌの人たちに祈りの山として伝承され、現在も市民に親しまれるアイヌ文化の景勝地。

(2) 市指定文化財

指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第1号	風連獅子舞	無形文化財	瑞生下多寄神社	平成18年3月27日
説明	下多寄地区は明治36年頃より富山県からの移住者が多い。その関係で富山県東砺波郡井波町から獅子舞一式を持ち帰り、明治41年8月に神社創建新築落成を記念して奉納された。現在も「風連獅子舞保存会」により郷土芸能として受け継がれている。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第2号	グイマツ	天然記念物	東風連3395番地	平成18年3月27日
説明	大正2年頃、東風連の神野熊十郎が敷地内に植樹していたもので、大正9年水田への転換を記念して十数本を東風連小学校に寄贈した。うち1本が昭和8年の校舎改築記念樹として北玄関前に移植され大きく生育している。			

第3号	名寄教会会堂	有形文化財	大通南2丁目	平成18年3月27日
説明	明治42年に建てられた現存する市内最古の洋風建築物である。会堂の建築は、小北木工場を運営していた小北・西田家をはじめとするキリスト教信徒の寄付が支えとなった。建物正面の直線的な切妻破風と上部が丸い縦長窓が、洋風の印象を与えている。内部の長椅子は材を丸ごと利用している。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第4号	ミズナラ林	記念物	名寄公園	平成18年3月27日
説明	名寄公園を中心としたミズナラ林は、周辺を含め約10haにわたり、1200本あまりが生育する。平均直径は約50cmで、樹齢は100年～150年と推定され、ほぼ純林的な林相をなしている。			

名寄市風連歴史民俗資料館

1 常設展示内容

<テーマ>

北限の農業 ～未開の大地と寒冷地農業への挑戦～
天塩とフーレベツの流れのなかで

1 階

- エントランス・ロビーには樹齢400年以上のイタヤカエデの巨木（高さ16m太さ3m 重さ6トン）が展示してあります。
- 一階展示室には風連の自然と人・古代の生活・未開の大地と寒冷地農業への挑戦・ふえる人口と町の発展・学校と子どもたち・便利になった毎日・今風連はと7つのテーマがあり、各テーマにあった展示がされております。その他に風連獅子舞などの展示コーナーがあります。

2 階

- 収蔵展示室には昔のくらしを家の内・外観など昔の色々なものを展示しています。

2 入館者数

区 分	小学生	中学生	高校生	一 般	合 計
20 年度	1 1 3 人	0 人	0 人	1 7 1 人	2 8 4 人
21 年度	1 5 6 人	0 人	0 人	3 6 人	1 9 2 人
22 年度	3 2 人	0 人	0 人	1 4 人	4 6 人

3 名寄市風連歴史民俗資料館概要

(1) 所 在 地 名寄市風連町南町85番地2
(受付は風連公民館 TEL 01655-3-2531 FAX 01655-3-2321)

(2) 開館年月日 平成2年4月1日

(3) 主 要 施 設 延床面積 645.76 m² (1階 258.635 m² 2階 387.125 m²)

1 階

エントランス・ロビー 59.163 m²
常設展示室 176.750 m²
収 蔵 庫 55.980 m²

2 階

特別展示室 102.750 m²
収蔵展示室 78.006 m²

4 利用案内

開 館 時 間 午前9時～午後5時 休 館 日 土・日曜日、祝日、年末年始
観 覧 料 無 料

xi 市立名寄図書館

1 平成23年度運営方針

市民の最も身近な学習活動を支援する教育施設として、利用者ニーズに即応した図書館機能の充実に努め、学習権の保障と資料並びに書誌情報の提供及び子どもの読書活動の推進を図ります。

平成23年度は、「名寄市子どもの読書活動推進計画」の最終年度にあたることから、計画に対する推進状況の検証を行い、子どもの読書活動を更に推進していくために第2次の推進計画の策定を進めます。

2 平成23年度事業計画

(1) 図書館奉仕業務

事業区分	事業内容
蔵書の充実	蔵書の更新整備、資料の収集と迅速な提供、児童図書への充実によるサービスの向上
移動図書館	自動車文庫「やまゆり号」の巡回による市内全域へのサービスの充実 ・巡回：名寄地区26・風連地区7 合計33ステーション （名寄地区26の内14ステーションは月2回、4月から12月運行） ・配本：名寄地区3・風連地区2 合計5ヶ所（拘置所、遠隔地の保育所他） ・遠隔地の小中学校巡回時に、「読み聞かせ」を実施：各学校年1～2回 （名寄本読み聞かせ会、風連読み聞かせの会の協力）
障がい者支援	録音図書：ボランティア団体「声の図書会」との連携。図書の宅配
情報の収集・提供	レファレンスサービス・相互貸借の充実 ・北海道立図書館や市町村立図書館と連携し、図書館情報の収集・提供を図ると共に、図書資料の相互貸借により、利用者へ広範な資料提供を図る。 ・インターネット及び国立国会図書館や北海道立図書館のネットワークの活用を図る。 ・図書館ホームページ、市広報、FM放送等により利用情報を提供する。 発信情報内容：利用案内・蔵書検索・新着図書・雑誌案内・行事案内等

(2) 読書普及活動

① 子どもの読書普及

市民ボランティア、図書館利用団体や学校との連携推進を図り、子ども読書の推進を実施する。

- ・「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に因んだ行事の開催
- ・幼児・児童・保護者を対象とした行事の開催（おはなしクラブ、ペンギンクラブ等）
- ・夏休み・冬休みの行事や司書体験、図書館まつり等の開催
- ・「おすすめ本リスト」の作成（本年度は、小学5・6年生向け）
 - ・読書感想文コンクールの実施
- ・風連分館の行事の開催（おはなしポケット・タイム、春・夏・秋・冬のおはなし会、司書体験等）
 - ・名寄市内学校図書室、市立名寄図書館担当者会議の開催
- ・子ども読書活動推進計画に基づく普及促進（第2次計画の策定）

② 一般向け読書の普及

市民ボランティア等との連携を図り、市民から好評を得ている行事の開催や、図書館利用の促進及び読書普及のための事業を企画実施する。

- ・ミニ展示コーナー（季節や話題をテーマとした本の展示） 随時開催
- ・文学講座「蓮（はちす）の露一良寛禅師と貞心尼一」 9～10月開催（全6回）
- ・特別展示『「星守る犬」公開記念展示会 ひまわりと犬にまつわる etc.』6月～7月
- ・雑誌リサイクル 11月3日（文化の日）
- ・名寄市民文化講演会の開催（主催：実行委員会）

- (3) 施設・設備整備
・図書館システムの更新

3 分類別蔵書冊数

(平成23年3月31日現在)

区 分	総 記	哲 学	歴 史	社会学	自然科学	技 術	産 業	芸 術
名寄本館	3,647	2,403	6,341	12,273	5,104	6,111	2,664	6,771
風連分館	608	377	1,254	1,781	592	860	464	1,057
合 計	4,255	2,780	7,595	14,054	5,696	6,971	3,128	7,828

区 分	言 語	文 学	参 考	大活字	児 童	大型絵本	紙芝居	合 計
名寄本館	1,001	31,028	4,970	113	27,675	52	790	110,943
風連分館	86	11,343	808	87	8,966	26	766	29,075
合 計	1,087	42,371	5,778	200	36,641	78	1,556	140,018

4 市立名寄図書館施設概要

- (1) 所 在 地 名寄市大通南2丁目 (TEL 2-4751 FAX 2-4897)
 (2) 開設年月日 昭和45年8月1日
 (3) 各 室 案 内
 延床面積 1,683㎡ (1階:591㎡ 2階:648㎡ 3階:379㎡ 4階:65㎡)

1 階	2 階	3 階	4 階
閱 覧 室 新 聞 庫 児 童 室	会 議 室 北海道・名寄コーナー 保存用閉架書庫	国際親善メモリアルホール 学 習 室	資料収納庫

※風連分館の施設概要は、P53「名寄市児童センター 4施設概要」に掲載。

5 利用案内

- (1) 本 館 ①開 館 日 通常開館 火曜日～金曜日 9時30分～17時
 休日開館 土曜日・日曜日 9時30分～16時
 夜間開館 水曜日・木曜日 17時～20時
 ②特別開館日 11月3日(文化の日)
 ③休 館 日 月曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日
- (2) 風連分館 ①開 館 日 通常開館 月曜日～金曜日 9時30分～17時
 休日開館 土曜日 9時30分～16時
 ②特別開館日 11月3日(文化の日)
 ③休 館 日 日曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日

xii なよろ市立天文台

1 平成 23 年度運営方針

地域の天文同好者・天体観測関係機関との連携を深め、天体観測並びに研究活動を通じ、市民への天文知識の普及と青少年に対する科学教育の振興を図る。

2 平成 23 年度事業計画

(1) 天文普及事業

- ・ 通常の直接観望（なよろ市立天文台）
- ・ 特別観望会（11 回開催予定、その他新天体が出現時等に随時実施）
- ・ 天文教室（季節ごとに開催、その他小中学校・一般団体の開催依頼は別途受付）
- ・ インターネット「なよろ市立天文台ホームページ」による情報提供

(2) プラネタリウム

- ・ 季節の星空解説
- ・ プログラム番組の投影
- ・ 学習・団体投影（学校・幼稚園・各団体）

(3) 調査・研究

- ・ 観測情報の収集（天体撮影・ビデオ収録）
- ・ 北海道大学大学院と連携した研究・観測

名寄市と北海道大学大学院理学研究科は、平成 17 年度に相互協力協定を締結
160 cm 光学赤外望遠鏡（北大設置）平成 23 年 4 月 29 日から一般公開

(4) その他企画

- ・ グランドオープン記念事業（4/29～5/8）
- ・ 星まつり（8/27）
- ・ 小学生による小惑星発見プロジェクト
- ・ 天文同好者による集まり
- ・ 星と音楽の融合をテーマにした、音楽イベントの開催

3 なよろ市立天文台施設概要

- (1) 所在地 名寄市字日進 157 番地 1 (Tel 2-3956 FAX 2-0267)

e-mail kitasubaru@nayoro-star.jp URL <http://www.nayoro-star.jp>

- (2) 開設年月日 平成 22 年 4 月 17 日

- (3) 主要施設 建物面積 1036.75 m²

施設内容 プラネタリウム、屋上観測室、観測室、レクチャールーム、企画展示コーナー、事務室、応接会議室、更衣休憩室

機器 160 cm 光学赤外望遠鏡（愛称ピリカ：北大設置）
50 cm カセグレン望遠鏡、40 cm カセグレン望遠鏡 他

4 利用案内

- (1) 開館時間：水曜日～日曜日、祝日 13時～21時30分（4月～9月）
13時～20時00分（10月～3月）
- (2) 休館日：月曜日・火曜日・祝日直後の休館日でない日
- (3) 入館料：小学生未満、障害者とその介助者、名寄市民で70歳以上は無料
- ・名寄市民特別料金
大人 400円 大学生 300円 高校生以下 無料
団体料金(10名以上) 大人 300円 大学生 200円
年間パスポート 大人 1,200円 大学生 1,000円
 - ・通常料金
大人 500円 大学生 400円 高校生～小学生 200円
団体(10名以上) 大人 400円 大学生 300円 高校生～小学生 100円
年間パスポート 大人 1,500円 大学生 1,200円 高校生～小学生 500円
- (4) 施設利用料
- ・望遠鏡
スライディンググループ内望遠鏡 口径 50cm、EM-500(各種鏡筒)、MS-5(各種鏡筒)
一晩 3,000円
移動式望遠鏡 各種一晩 500円
 - ・部屋
レクチャールーム Aタイプ (約100人収容) 1時間 400円
Bタイプ (約50人収容) 1時間 200円
プラネタリウム占有利用 (常設席 50席) 30分 200円
研究室一室 (一晩) 2,500円



i 審議会・委員会

◎会長、委員長

○副会長、副委員長

(平成23年5月1日現在)

育英奨学審議会委員会 (任期 ~24. 3. 31)

真鍋美津枝 (学 識 経 験 者)
 國井真 人 (教 育 関 係 者)
 千原治 (")

東富子 (学 識 経 験 者)
 中山妙子 (民 生 委 員)
 尾関章 (")

就学指導委員会 (任期 ~24. 3. 31)

室野晃一 (医 師)
 大友由紀子 (学 識 経 験 者)
 糸田尚史 (")
 三栖雅之 (関 係 教 育 機 関)
 工藤芳晴 (")
 清水悟隆 (")
 松井清夫 (")
 東谷文昌文 (")
 菊池ゆかり (")
 高佐々寛智子 (")
 関菅未啓貴子 (")
 菅田美智子 (")
 能嶋祖一 (")
 安彦修 (")

大野西陵公 (関 係 教 育 機 関)
 関田有希子 (")
 町田雅史 (")
 山崎みどり (")
 北山省三章 (")
 白石雅朋美 (")
 安武裕二幸 (")
 一坪和正幸美 (")
 蟹煙谷山正宏由 (")
 加藤藤真紀子 (")
 山田裕良子 (福 祉 関 係)
 高橋川郁子 (")
 渡邊里佳 (行 政 機 関)

学校給食センター運営委員会 (任期 ~24. 3. 31)

◎早川正一 (P T A)
 ○山崎眞由美 (学 識 経 験 者)
 黒川清子 (")
 長谷部幸武 (")
 石川瞳之 (")
 山栖雅 (学 校 長)
 鷹合勇 (")

松井清隆 (学 校 長)
 上村文亮 (")
 東藤文 (")
 後上裕夫 (P T A)
 井藤玲行 (")
 粕谷玲子 (")
 中村耕司 (")

社会教育委員の会 (任期 ~24. 3. 31)

◎大坂祐二 (学 識 経 験 者)
 ○宮澤好輝 (社 会 教 育)
 ○宮本幸子 (学 識 経 験 者)
 三栖雅之 (学 校 教 育)
 牧野裕三 (")
 千原治広 (")
 長能朋五郎 (社 会 教 育)
 若槻弘二 (")
 室田弘二 (")

早川正一 (学 識 経 験 者)
 中村洋優 (")
 秋山宅香 (")
 三宅口光章 (")
 櫻井田光男 (")
 新井西絹代 (")
 大橋本恵子 (")
 吉田正弘 (")
 征子 (家 庭 教 育)

生涯学習推進アドバイザー

桑原隆太郎 中 枝 博 美

蓑輪千恵

名寄市教育振興審議委員会

藤 平 民 世	(文 化 団 体)	竹 内 利 行	(学 識 経 験 者)
佐 藤 時 男	(")	笠 井 信	(")
水 島 寿 昌	(ス ポ ー ツ 団 体)	湯 川 孝 一	(")
金 井 恵 美 子	(")		

名寄市公民館運営審議会及び市民文化センター運営委員会

並びに多目的研修センター運営委員 (任期 ～24. 3. 31)

◎ 金 子 謙 治	(学 校 教 育)	島 影 道 子	(社 会 教 育)
○ 池 田 俊 行	(学 識 経 験 者)	室 資 祁 子	(")
染 木 圭 男	(学 校 教 育)	永 井 健 一	(学 識 経 験 者)
福 井 誠	(")	箭 原 純 子	(")
竹 田 拓 二	(社 会 教 育)		

名寄市風連公民館運営審議会並びにふうれん地域交流センター運営委員 (任期 ～24. 3. 31)

◎ 山 下 則 之	(学 識 経 験 者)	寺 田 仁 志	(学 識 経 験 者)
○ 牧 野 裕 三	(学 校 教 育)	齋 藤 仁 司	(")
東 文 夫	(")	中 野 淳	(")
松 樹 恒 史	(学 識 経 験 者)	佐 藤 富 雄	(")

名寄市児童館運営委員会 (任期 23. 4. 1～25. 3. 31)

◎ 三 栖 雅 之	(教 育 関 係 者)	後 藤 裕 子	(利 用 保 護 者)
○ 清 水 悟	(")	瀬 川 里 美	(")
湯 川 孝 一	(学 識 経 験 者)	岩 崎 ゆかり	(")
佐 藤 栄	(")	鏡 谷 由 香	(")
佐 藤 ヒデ子	(利 用 保 護 者)	柳 谷 千恵子	(学 識 経 験 者)

名寄市児童クラブ運営委員 (任期 23. 4. 1～25. 3. 31)

◎ 三 栖 雅 之	(教 育 関 係 者)	後 藤 裕 子	(利 用 保 護 者)
○ 清 水 悟	(")	瀬 川 里 美	(")
湯 川 孝 一	(学 識 経 験 者)	岩 崎 ゆかり	(")
佐 藤 栄	(")	鏡 谷 由 香	(")
佐 藤 ヒデ子	(利 用 保 護 者)	柳 谷 千恵子	(学 識 経 験 者)

青少年問題協議会委員 (任期 ～24. 3. 31)

◎ 加 藤 剛 士	(関 係 行 政 機 関)	檜 山 秀 明	(学 識 経 験 者)
○ 藤 田 健 慈	(学 識 経 験 者)	宮 武 一 典	(")
○ 田 中 多 喜 子	(")	國 井 眞 人	(")
藤 原 忠	(関 係 行 政 機 関)	福 井 誠	(")
山 崎 明	(")	宮 澤 好 輝	(")
三 国 和 子	(学 識 経 験 者)	宮 本 幸 子	(")
上 村 亮	(")	山 崎 直 文	(関 係 行 政 機 関)

名寄市博物館協議会 (任期 ～24. 3. 31)

◎ 山 中 政 信	(学 識 経 験 者)	佐 藤 源 嗣	(学 識 経 験 者)
○ 又 村 秀 浩	(")	中 島 真 美	(利 用 者)
金 子 謙 治	(学 校 教 育)	雪 野 繼 代	(市 立 大 学)
谷 井 八重子	(利 用 団 体)		

名寄市文化財審議会（任期 ～24. 3. 31）

◎ 山中 政信 （学識経験者）
○ 又村 秀浩 （ " ）
金 子 謙 治 （学 校 教 育）
谷 井 八重子 （利 用 団 体）

佐 藤 源 嗣 （学識経験者）
中 島 真 美 （利 用 者）
雪 野 繼 代 （市 立 大 学）

名寄市図書館協議会（任期 ～24. 3. 31）

◎ 辻 玲 子 （学識経験者）
○ 松 下 一 也 （ " ）
田 村 啓 一 （学 校 教 育）
工 藤 久美子 （学識経験者）

田 村 悦 子 （学識経験者）
益 塚 代美子 （ " ）
長 尾 俊 宏 （幼 稚 園 代 表）

体育指導委員（任期 ～24. 3. 31）

◎ 安 達 啓 治 （学識経験者）
○ 名 越 隆 治 （ " ）
高 橋 良 子 （ " ）
川 村 茂 樹 （ " ）
井 元 和 正 （ " ）
高 橋 浩 一 （ " ）
上 野 敬 典 （ " ）
花 岡 宏 幸 （ " ）

中 尾 肖 嗣 （学識経験者）
大 野 洋 子 （ " ）
寺 田 智 子 （ " ）
横 山 みゆき （ " ）
杉 本 周 子 （ " ）
百 武 子 学 （ " ）
平 間 大 介 （ " ）
小 川 舞 （ " ）

スポーツ振興審議会（任期 ～24. 3. 31）

田 中 雅 司 （学識経験者）
熊 谷 守 （ " ）
関 朋 昭 （ " ）
和 田 敏 明 （ " ）
佐 藤 時 男 （ " ）
安 澤 豊 （ " ）
石 原 祥 子 （ " ）

河 本 宏 明 （学識経験者）
柿 川 美智子 （ " ）
工 藤 芳 晴 （ " ）
高 橋 雅 樹 （ " ）
奥 田 政 章 （ " ）
藤 井 晶 美 （ " ）

なよろ市立天文台運営委員会（任期 ～24. 3. 31）

◎ 宮 武 一 典 （学 校 教 育）
○ 播 本 雅津子 （学識経験者）
大 谷 秀 二 （ " ）

大 沼 広 明 （社 会 教 育）
小 山 均 （ " ）
高 谷 恵美子 （学識経験者）

ii. 旧名寄市教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
寛政10. 7. *	1798	幕府の属僚3名天塩川を遡り見聞す
明治 5.10. 8	1872	上川地方（名寄）の実情調査さる。宗谷支庁佐藤正克技師
30. 6. 1	1897	上名寄村（現名寄市）の称号を得る。
35. 9. 1	1902	3村戸長役場庁舎新築落成開庁（大通1丁目）
9.15		上名寄簡易教育所開設（M37 上名寄尋常小学校、M39 名寄尋常高等小学校、S16 名寄国民学校、S22 名寄小学校 と改称）教育の嚆矢である
36. 4. 8	1903	チエブン簡易教育所開設（M37 智恵文簡易教育所、M41 智恵文尋常小学校、T7 智恵文尋常高等小学校、S16 智恵文国民学校、S22 智恵文小学校 と改称）
37. 7. *	1904	曙簡易教育所開設（M41 曙尋常小学校、S16 曙国民学校、S22 曙小学校 と改称）
38. 7. 1	1905	上名寄五線簡易教育所開設（M41 上名寄五線教育所、M43 上名寄五線尋常小学校、T9 中名寄尋常小学校、S16 日彰国民学校、S22 日彰小学校、S24 中名寄小学校 と改称）
39. 4. *	1906	有利里簡易教育所開設（M41 有利里教育所、T6 有利里尋常小学校、S16 瑞穂国民学校、S22 瑞穂小学校 と改称）
6.20		十八線簡易教育所開設（M41 十八線教育所、T6 十八線尋常小学校、S16 共和国国民学校、S22 共和小学校 と改称）
42. 1.17	1909	曙尋常小学校所属ハッチャシナイ特別教授場開設（M43 初茶志内教育所、T6 初茶志内尋常小学校、S16 弥生国民学校、S22 弥生小学校 と改称）
5.28		智南教育所開設（T6 智南尋常小学校、S16 智南国民学校、S22 智南小学校 と改称）
43.12.12	1910	智東教育所開設（T6 智東尋常小学校、S16 智東国民学校、S22 智東小学校 と改称）
大正 5. 4. 1	1916	智恵文尋常小学校所属智北特別教授場開設（T7 智恵文尋常高等小学校智北特別教授場、T13 智北尋常小学校、S16 智北国民学校、S22 智北小学校 と改称）
6. 1		名寄尋常高等小学校日進分教場開設（S16 名寄国民学校日進分教場、S22 名寄小学校日進分校、S32 日進小学校 と改称）
7. 4. 1	1918	名寄尋常高等小学校内淵特別教授場開設（T11 名寄尋常高等小学校内淵分教場、S16 名寄国民学校内淵分教場、S22 名寄小学校内淵分校 と改称）
4. 1		智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場開設
8. 7.15	1919	智恵文尋常高等小学校所属智西特別教授場開設（T13 智西尋常小学校、S16 智西国民学校、S22 智西小学校 と改称）
9. 6.28	1920	名寄女子職業学校開校
11. 4. 1	1922	北海道庁立名寄中学校開校（S22 北海道立名寄中学校、S23 北海道立名寄高等学校、S25 北海道名寄高等学校 と改称）
7. *		名寄教会幼稚園開設（現 名寄幼稚園）
13. *. *	1924	智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場廃止、本校に統合
9. 4		名寄南尋常小学校開校（S16 名寄国民学校、S22 名寄南小学校 と改称）
10.16		智南尋常小学校校舎全焼
14.11. 1	1925	智恵文女子実業補習学校開校（S3 智恵文実科女学校、S10 智恵文青年学校女子部と改称）
11. 7		名寄町処女会発足
15. 4. 1	1926	青年訓練所令により各学校に青年訓練所併置
7. 1		智恵文尋常高等小学校所属北山特別教授場開設（S4 北山尋常小学校、S16 北山国民学校、S22 北山小学校 と改称）
昭和 2. 4.26	1927	名寄町立名寄高等女学校開校（S5 北海道庁立名寄高等女学校、S22 北海道立名寄高等女学校、S23 北海道立名寄女子高等学校、S25 北海道名寄高等学校 と改称）

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和 3. *. *	1928	名寄女子連合青年団発足
5. 6. *	1930	智恵文女子青年団発足
6. 11. *	1931	曙尋常小学校新築移転
8. *. *	1933	東山シャンツェ完成
10. 4. 1	1935	青年学校令により各学校に青年学校併置（実業補習学校、青年訓練所を併合）
12. 10. 16	1937	北海道庁立名寄中学校全焼
14. 9. 7	1939	名寄鈴石、名寄高師小僧、国の天然記念物に指定
15. 11. 19	1940	曙尋常小学校全焼
16. 1. 20	1941	名寄町青年団発足（男女青年団解散）
4. 20		名寄町青少年団発足
4. 21		北海道庁立名寄農業学校開校（S23 北海道立名寄農業高等学校、S24 北海道名寄農業高等学校 と改称）
6. 15		智恵文青少年団発足
20. 10. 1	1945	田辺服装塾、名寄衣料裁断研究会（後の名寄服飾専門学校）開校
21. 6. 12	1946	名寄洋裁学校開校
22. 3. *	1947	名寄文化協会設立
4. 1		名寄女子職業学校募集停止
5. 20		名寄中学校開校（本校（名寄小学校）、分校：大橋（旧制名寄中学校）、旭東（旧制名寄高等女学校）、日彰（日彰青年会館）、瑞穂（瑞穂小学校）}
6. 1		智恵文中学校開校（分校：旧制智南小学校）
23. 1. 10	1948	名寄町公民館設置（26年6月27日開館）
3. 31		名寄中学校大橋分校、旭東分校廃止
4. 1		名寄中学校北分校設置
4. 1		名寄文化服装女学校開校
10. 1		名寄農業高等学校定時制課程（普通科・農業科）設置
10. 5		飯塚洋裁学院（後の飯塚ドレスメーカー女学院）開校
24. *. *	1949	加藤学園（後の名寄服飾専門学校）開校
4. *		田辺服装塾閉鎖
5. 13		体育指導委員会発足
8. 15		名寄町公民館図書室開設
25. 1. 15	1950	名寄地方体育クラブ発足
4. *		名寄女子高等学校、名寄高等学校に統合
7. 3		名寄南小学校に養護教室設置
7. 13		名寄小学校が道教委の学校給食モデル校として指定
9. 13		名寄カトリック愛児園（後の名寄カトリック幼稚園）開園
10. 1		北海道洋裁専門女学校名寄分校（後の北海道文化服飾名寄専門学校）開校
26. 1. 1	1951	中名寄中学校として独立（名寄中学校日彰分校）
1. 25		名寄小学校御園分校設置
4. 1		北海道名寄農業高等学校智恵文分校設置（S27 北海道智恵文高等学校、S33 北海道名寄北高等学校 と改称）
4. 1		名寄農業高等学校に酪農科増設
4. 1		名寄中学校旭東分校復活
4. 1		名寄中学校北分校廃止
7. 24		名寄農業高等学校定時制農業科、季節制に改組
27. 2. 22	1952	曙小学校校舎全焼
4. *		智恵文公民館開設
4. 1		智南中学校として独立（智恵文中学校智南分校）
4. 14		名寄文化服装学校開校
8. 20		名寄東中学校として分離（名寄中学校）
10. 1		名寄小学校東分校設置
11. 1		教育委員会発足

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和28. 4. 1	1953	名寄町立家政高等学校開校（S35 名寄女子短期大学附属高等学校、S53 名寄恵陵高等学校と改称）
4. 1		瑞穂中学校として独立（名寄中学校瑞穂分校）
4. 1		名寄農業高等学校定時制課程普通科、名寄高等学校に移設
28. *. *	1953	名寄文化服装女学校廃校
8. 1		名寄町民学校開校
9. 18		名寄体育協会結成
11. 1		道立図書館分館開館
29. *. *	1954	名寄町体育館建設
6. 1		移動図書館あけぼの号巡回開始
8. 1		智恵文村と合併、新名寄町発足
12. 1		名寄小学校内渕分校廃止、スクールバス通学開始
30. *. *	1955	名寄南小学校グラウンドにスケートリンク開設
4. 1		名寄高等学校に商業科設置
4. *		名寄小学校、視聴覚教室の研究指定校に指定
8. 1		名寄町営球場完成
31. 4. 1	1956	名寄市市制施行（全道21番目）
32. 4. 1	1957	日進小学校開校（名寄小学校日進分校と東分校が統合）
7. 24		智北小学校改築落成
11. 1		名寄市学校教育指導委員会発足（委員15名）
33. 1. 19	1958	名寄市文化団体連絡協議会設立（後の名寄市文化協会）
4. 1	1958	名寄市視聴覚教育センター発足
4. 1		名寄東小学校開校（名寄小学校御園分校を名寄東小学校御園分校と改称）
4. 10		光名幼稚園開園
5. 30		名寄家政高等学校寄宿舎落成
7. 15		名寄北高等学校校舎新築
8. 31		第1回市民レクリエーション大会開催
11. *		第1回市民文化祭開催
34. 4. 1	1959	名寄西小学校開校
4. 1		名寄小学校に知的障害児学級設置
4. 6		大谷幼稚園開園
35. 4. 1	1960	名寄女子短期大学開学（H2 市立名寄短期大学と改称。）
36. 4. 1	1961	市立名寄図書館設置
5. 15		名寄市体育協会設立
37. *. *	1962	緑丘シャンツェ開設
		名寄文化服装学校廃校
4. *		名寄小学校、名寄南小学校完全給食開始
6. 1		名寄市民会館新築落成
10. 1		青少年補導センター設置
38. 4. 1	1963	名寄高等学校に工業課程設置（電気科、機械各科1間口）
5. 5		第1回ピヤシリ子ども会大会・少年の日制定
10. 1		名寄西小学校肢体不自由児学級、マザーズホーム併設
10. 1		瑞穂中学校、名寄東中学校に統合
10. 1		名寄市青少年武道場開設
		菊山スキー場、市営となる
39. 9. 22	1964	名寄市教育研究所設立
11. 11		名寄市勤労青少年ホーム開所
40. *. *	1965	飯塚ドレスメーカー女学院廃校
10. 7	1965	名寄女子短期大学図書館落成
10. 20		名寄小学校校舎改築落成（市内で初めてのコンクリート造り）
12. *		名寄市学校給食センター完成

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和41. 4. 1	1966	名寄農業高等学校に生活科設置
4. 1		名寄高等学校商業課程廃止
4. 1		社会科副読本「なよろ」発行
4. 25		学校給食センター市内全小中学校に給食開始
42. 4. 1	1967	名寄高等学校に工業過程建築科増設
4. 1		名寄農業高等学校林業科募集停止
7. 1		新名寄市営球場竣工ならびに球場開き
7. 15		名寄市営プール開設（現西プール）
12. 15		青少年会館落成（43. 1. 5 開館）
43. 3. 27	1968	名寄東小学校御園分校廃止
4. 1		智南中学校、名寄東中学校に統合
44. 3. 31	1969	名寄北高等学校廃校
45. 4. 1	1970	名寄南小学校、共和小学校、曙小学校 3 校統合（新名寄南小学校開校）
4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室設置
7. 31		名寄市プラネタリウム館完成
8. 1		市立名寄図書館落成開館
8. 1		市内辺地小中学校対象の巡回児童文庫開始
12. 30		ピヤシリシャンツェ完成（70M級）
46. 3. 28	1971	第 1 回ピヤシリジャンプ大会（笠谷優勝 80M）
4. 1		中名寄中学校、名寄中学校に統合
9. *		やまゆり号による市内巡回文庫開始
47. 1. 20	1972	名寄南小学校統合新校舎
4. 1		智東小学校、名寄南小学校に統合
4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室廃止
9. 6		第21回全国僻地教育研究大会第 6 分科会開催（於日進小学校6～8日）
48. 1. 20	1973	名寄市働く婦人の家開設
4. 1		視聴覚ライブラリー発足（名寄市視聴覚教育センターを吸収）
8. 14		名寄市営南プール開設（ビニール屋根付25m）
12. 23		国設ピヤシリスキー場開設
12. *		私設木原天文台開設
49. 1. 28	1974	名寄西小学校（現豊西小学校）に言語治療教室開設
4. 1		豊西小学校開校
50. 2. 9	1975	第24回全国高等学校スキー選手権大会開催
4. 1		名寄スポーツセンター落成、開館
4. 1		名寄工業高等学校開校（名寄高等学校工業過程が分離）
51. 4. *	1976	豊西小学校言語治療教室に難聴教室併設
6. 18		全日本軟式卓球選手権大会（18～20日）
6. 30		智恵文簡易プール開設
52. 4. 1	1977	智西小学校、北山小学校、智恵文小学校に統合
5. 2		キマロキ編成名寄公園に展示
53. 4. 1	1978	弥生小学校、名寄南小学校に統合。瑞穂小学校、名寄西小学校に統合
12. 15		名寄中学校校舎移転改築完成（52・53年度2ヵ年事業）
12. 16		名寄スポーツセンター第 2 体育館開館
54. 1. 21	1979	スキーを市技に指定
2. 17		第34回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催（17日～20日ピヤシリスキー場）
4. 1		名寄南小学校に情緒障害学級設置
4. 1		智南小学校、名寄西小学校に統合
7. 16		天塩川右岸、左岸、埋蔵文化財発掘調査
10. 1		第 1 回スポーツフェスティバル（スポーツセンター）
10. 31		名寄市営庭球場完成（コート6面、管理棟）

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和54. 12. 26	1979	市立名寄図書館郷土資料室展示分室開設（旧消防署）
55. *. *	1980	名寄市社会教育推進協議会発足
2. 16		スキー市技指定、国体開催記念第1回名寄市雪の祭典(16～17日)
4. 1		名寄恵陵高等学校家政科2間口を普通科に転換
5. 13		「名寄ピヤシリ大学」開設
5. 22		「友朋学級」開設
8. 1		「フーコーの振子」開設
8. 17		土俵場完成（スポーツセンター南庭）
56. 4. 1	1981	名寄女子短期大学家政科を家政専攻課程、栄養専攻課程に分離
4. 1		豊西小学校言語治療教室、南小学校情緒障害児学級に市幼児ことばの教室併設
5. 30		名寄岩頭彰像除幕式
57. 3. 20	1982	名寄東中学校校舎完成
3. 21		智北小学校、智恵文小学校に統合
3. 31		名寄農業高等学校定時制閉課
4. 1		小学校通学区域の一部変更（西町3区が豊西小に）
4. 1		智恵文地区公民館が智恵文公民館に独立
4. 1		名寄職業訓練校が高等職業訓練校に昇格
7. 3		天塩川河川サッカー場オープン
12. 14		名寄工業高校校舎完成
58. 6. 1	1983	小中学校生徒指導協議会発足
6. 27		名寄高等職業訓練校校舎落成記念式典
7. 31		名寄市民文化センター完成(社会教育課、市民会館から移転)
11. 22		郷土資料室移転（大通北1、旧消防署庁舎）
59. 3. 24	1984	名寄恵陵高等学校校舎完成、移転
4. 1		日進小学校、名寄小学校に統合
4. 1		名寄女子短期大学、児童専攻課程設置
12. *		名寄農業高等学校校舎完成
60. 7. 1	1985	名寄スポーツセンターが道体協から名寄市に移管され「名寄市スポーツセンター」となる
7. 1		旧名寄恵陵高等学校体育館を一部改修し「北体育館」として一般に開放
8. 20		移動図書館車「やまゆり号」購入
61. 3. 25	1986	第64回全日本スキー大会（滑降競技大会 25～27日）
5. 31		名寄市シニアリーダーサークル（NAC）発会
7. 10		スーポロ碑建立
12. 12		智恵文中学校改築
62. 9. 26	1987	道立近代美術館所蔵秀作展（北海道を画く）（9/26～9/30）（文化センター）
10. 20		理科副読本「郷土の自然なよろ」発行
12. 5		中名寄小学校改築
平成元. 2. 19	1989	はまなす国体歩くスキー大会
6. 25		札幌グリーンコンサート
7. 28		体験王国ほっかいどう
9. 4		名寄東小学校起工式
2. 4. 1	1990	名寄女子短期大学、市立名寄短期大学に改称
4. 1		名寄農業高等学校生活科を生活科学科に学科転換
6. 9		名寄海洋センター（プール）完成
6. 28		名寄市麻生ゲートボール場完成（3面）
7. 25		第34回全道公民館大会開催
8. 25		名寄市麻生テニスコート増設完成（オムニ式2面）
11. 18		開基90周年記念 ベートーベン第9交響曲特別演奏会
11. 25		名寄東小学校校舎落成・開校33年記念協賛会記念式典
3. 2. 7～9	1991	第28回全国中学校スキー大会開催

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成 3. 8. 4	1991	土俵移設記念土俵開き（入母屋造り、銅板ぶき）
12. 24		名寄市学校給食センター改築
4. 1. 19	1992	名寄市新学校給食センター供給開始
4. 1		名寄中学校に情緒学級開設
4. 20		児童センター開館
9. 11		名寄市立木原天文台開設（市へ寄贈）
9. 12		学校週 5 日制開始
11. 19		スポーツセンター大改修完了
5. 3. 31	1993	スポーツセンター第 2 体育館増築（302.4 m ² ）
4. 1		小学校社会科副読本「なよろ」全面改定版発行
6. 30		智恵文中学校水泳プール全面改修
7. 1		図書館日曜開館
9. 30		西小学校校舎改築落成
12. 15		名寄市民文化センター開館10周年記念事業“所蔵絵画展”開催
6. 4. 1	1994	名寄短期大学看護学科（入学定員50名）開設
4. 1		名寄恵陵高校家政科が生活文化科へ学科転換
8. 5～8		山形県藤島町へ少年少女の交流団訪問
8. 6		大関「名寄岩」生誕80周年記念事業開催
11. 30		ピヤシリシャンツェ・ミデイアムヒル造成工事完成
7. 3. 31	1995	菊山スキー場閉鎖
4. 1		名寄工業高等学校、機械科募集停止、電子機械科新設
11. 16		名寄市営球場改修工事完成
8. * . *	1996	北海道文化服装名寄専門学校廃校
2. 10		北国博物館開館
4. 1		名寄農業高等学校生活科学科募集停止、農業科を農業・生活科に学科転換
4. 1		教育相談電話「ハートダイヤル」開設
5. 26		なよろ健康の森陸上競技場オープン
9. 4. 1	1997	(財)名寄市体育協会に管理委託（海洋センター、南・西・智恵文プール、市営球場、テニスコート、北体育館）
5. 13		名寄市学校給食センター衛生管理推進地域指定(文部省より3ケ年)
6. 12		第36回全道博物館大会開催
8. 15		博物館大型資料収蔵庫開設
10. 26		名寄中学校開校50周年記念式典
11. 30		智恵文中学校開校50周年記念式典
10. * . *	1998	名寄服飾専門学校休校
2. 3		名寄図書館と北海道道立図書館間コンピューターオンライン化
4. 1		(財)名寄市体育協会に管理委託（スポーツセンター、ジャンプ台）
4. 11		南児童クラブ開設
6. 11		名寄南小学校に肢体不自由児学級設置
7. 1		名寄市教育振興協議会発足
10. 20		名寄小学校校舎竣工
11. 4. 1	1999	特認校制度スタート
6. 2		図書館水木夜間開館試行開始
10. 3		名寄西小学校40周年記念式典
10. 12		小学校 7 校にコンピュータ導入
12. 3. 1	2000	恵陵高校生徒募集停止
3. 24		名寄工業高等学校廃止
4. 12		名寄光陵高等学校新設
5. 16		なよろ健康の森あかげらパークゴルフ場オープン
8. 1		名寄市開拓 100年記念式典
9. 24		カトリック幼稚園設立50周年式典

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成12. 10. 1	2000	恵陵高校創立80周年記念式典及び祝賀会
10. 20		中学校3校コンピュータ更新
10. 27		市立名寄短大開学40周年記念構成劇「明日を拓く名寄短大」
13. 9. 1	2001	市教委でリーダーバンク設置
14. 3. 1	2002	名寄光陵高等学校電気科、建築科閉科
3. 31		名寄恵陵高等学校閉校
4. 1		完全学校週5日制開始
6. 8		名寄公園パークゴルフ場オープン
7. 3		北国博物館入場者10万人達成
7. 18		学校評議員制度導入（名寄小・名寄中）
9. 1		名寄東中学校50周年記念式典
9. 22		名寄小学校100周年記念式典
10. 1		ピヤシリシャンツェノーマルヒル改修
10. 19		名寄高等学校80周年記念式典
15. 2. 22	2003	第58回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催
5. 13		学校評議員制度拡大（名寄南小・名寄西小・名寄東中）
16. 3. 8	2004	図書館蔵書インターネット検索システム稼動
8. 7		中名寄小学校開校100周年記念式典
9. 1		市営テニスコート改修（オムニコート2面、グリーンサントコート4面、夜間照明2基、観覧席）
10. 24		名寄南小学校開校80周年記念式典
11. 27		智恵文小学校開校100周年記念式典
17. 2. 10	2005	豊西小学校開校30周年記念集会
17. 12. 9		北海道大学大学院理学研究院と名寄市との相互協力協定締結

iii. 旧風連町教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
明治35. 3. *	1902	20線基線の今川良策が、自宅に子どもを集めて教育を始める
9. 25		下多寄簡易教育所開設 (S38 下多寄尋常小学校、S16 下多寄国民学校、S18 高等科併置、S22 下多寄小学校 と改称)
36. 11. *	1903	部落民の寄付により25線東7号に教場設置
37. 1. 20	1904	フーレベツ簡易教育所開設 (同年 風連簡易教育所、M39 風連尋常小学校 と改称)
41. 10. 19	1908	西風連尋常小学校設置 (T5 高等科併置、T11 風連尋常高等小学校、S16 風連国民学校、S22 風連小学校 と改称)
11. 3		フーレベツ特別教授所開設 (M45 風連尋常小学校、T11 風連旭尋常小学校、S16 風連旭国民学校、S18 高等科併置、S22 風連旭小学校 と改称)
11. 24		風連教育所開設 (M43 風連御料尋常小学校、T13 日進尋常小学校、S4 日進尋常高等小学校、S16 日進国民学校、S22 日進小学校 と改称)
42. 7. 30	1909	西風連尋常小学校校舎新築移転
10. 23		東風連尋常小学校設置 (S16 東風連国民学校、S18 高等科併置、S22 東風連小学校 と改称)
44. 7. 12	1911	下多寄尋常小学校附属西特別教授所開設 (T5 西多寄尋常小学校、S16 西多寄国民学校、S17 高等科併置、S22 西多寄小学校、S27 中学校併置に伴い西多寄小中学校、S36 西風連小中学校、S59 中学校閉校に伴い 西風連小学校 と改称)
8. 27		東風連尋常小学校校舎移転新築
大正11. 9. 13	1922	多寄村連合青年団結成
15. *. *	1926	青年訓練所設置
昭和 3. 11. *	1928	風連家政女学校開設
4. 11. 1	1929	下多寄尋常小学校校舎改築
6. 10. 3	1931	風連尋常高等小学校校舎改築
7. 5. 22	1932	東風連尋常小学校忠烈布特別教授所開所 (S19 忠烈布国民学校、S22 忠烈布小学校、S27 中学校併置に伴い 忠烈布小中学校 と改称)
7. *		裁縫教授所開所 (後の加藤学園)
8. 11. *	1933	日進尋常高等小学校校舎改築
12. 17		風連旭尋常小学校校舎改築
10. *	1935	青年学校設置
11. 9. 11	1936	西多寄尋常小学校校舎新築移転
14. 7. *	1939	青年学校義務制となる
16. 4. 1	1941	尋常小学校が国民学校に改められる (初等科6年、高等科2年)
21. 8. *	1946	風連村連合青年団設立 岩見沢昭和洋裁女学院風連分院開設 (後の高橋洋裁女学院)
22. 4. 1	1947	国民学校が小学校に改められ高等科廃止 風連中学校設置、風連小学校に併設
5. 1		下多寄、風連旭、東風連、西多寄、日進の各小学校に風連中学校の分校を併置
23. 10. 28	1948	風連連合婦人会設立
12. 15		風連中学校校舎新築
24. 4. 1	1949	各小学校に併置されていた風連中学校の分校が日進以外廃止 風連村公民館設置
11. 1		東生小学校設置
25. 8. 25	1950	忠烈布小学校に風連中学校分校併設
11. 1		日進中学校設置
26. 1. 15	1951	名寄農業高等学校風連分校開校 (S28 風連高等学校 と改称)
12. *		日進中学校校舎新築移転
27. 4. 1	1952	西多寄中学校設置 (西多寄小に併置)

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和27. 4. 1	1952	忠烈布中学校設置（忠烈布小に併置）
11. 1		風連村教育委員会設置
28. 4. 1	1953	「風連町教育是」制定
5. 3		第1回名寄～風連間憲法発布記念マラソン大会（風連→名寄）
29. 5. 10	1954	風連幼稚園開設
30. 11. 26	1955	西多寄小中学校全焼
*		風連町父母と先生の会連合会設立
31. 10. 2		西多寄小中学校新築
*		風連町児童生徒校外補導協議会設立
34. 10.	1959	第1回健民大運動会
11. 12		下多寄小学校新築落成
37. 1. 24	1962	風連町若妻会設立
9. *		忠烈布小学校開校30周年・同中学校開校10周年記念武典
39. 3. 31	1964	忠烈布小中学校閉校（小学校は東風連小学校、中学校は風連中学校に統合）
		風連高等学校道立移管
4. 11		風連中学校全焼
5. 29		風連町中核農民学校開校
10. 3		風連中学校校舎落成式
40. 4. *	1965	風連町連合青年会設立
7. *		町営プール完成
*		婦人学級・家庭教育学級開設
41. 1. 31	1966	風連町体育協会設立
42. 2. *	1967	町内初のスケートリンク造成
6. *		消防本部2階を公民館図書室として開設
43. 12. *	1968	風連町営スキー場開設
45. 3. *	1970	近藤育英基本条例制定
7. *		日進小学校に簡易プール完成
45. 11. *	1970	町営ヒュッテ建設
46. 3. 31	1971	東生小学校閉校（日進小学校に統合）
4. 1		風連中央小学校設置（風連小学校と風連旭小学校が統合）
7. *		風連町スポーツ少年団本部設立
		風連町子ども会育成連絡協議会設立
12. *		風連町新生活運動推進委員会設立
47. 6. 30	1972	風連町公民館講座「風連町老人大学」開講（S53 瑞生大学と改称）
7. *		町内7カ所史跡標示板を設置
9. *		全国へき地教育研究大会開催
9. 12		風連旭小学校及び風連中央小学校風連旭分教室閉校式
12. 7		風連小学校閉校式
12. 14		風連中央小学校校舎新築落成
48. 1. 20	1973	風連中央小学校開校式
7. *		初の屋根付き町営プール完成
9. 2		学校給食センター完成
10. 1		町内小中学校の学校給食スタート
10. 30		東風連小学校校舎完成
49. 4. 1	1974	米飯給食の開始（完全給食）
50. 5. *	1975	旭公民館に「愛の鐘」設置
10. *		風連町青少年研修センター及び風連町児童会館完成
52. 5. *	1977	風連町婦人団体連絡協議会設立
11. 8		日進小中学校校舎改築落成
53. 2. *	1978	風連町連合婦人会結成30周年記念式典
		第1回北部北海道ジュニアスピードスケート大会

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和53. *. *	1978	日進小学校と日進中学校が併置校となる
5. *		教育委員会にマイクロバス導入
54. 7. *	1979	町営球場完成
* *		風連町陶芸センター完成
9. *		ノンプロ招待野球大会（開基80周年記念行事）
55. 10. *	1980	風連の未来を築く会設立
		旧役場庁舎を武道場として改修
56. 9. *		西風連小学校開校70周年及び中学校開校30周年記念式典
12. *		風連中央小学校グラウンドに333.3mの公認スケートリンク造成
		町営スキー場に20m級ジャンプ台新設
57. 8. *	1982	第1回町民運動会
10. *		風連町生徒指導連絡協議会設立（平成4年に生徒指導推進協議会に改称）
59. 3. 31	1984	西風連中学校閉校（風連中学校に統合）
10. *		風連町連合青年会創立20周年記念式典
60. 11. *	1985	町営第2球場完成
61. 4. *	1986	風連町日進剣道スポーツ少年団設立
62. 6. *	1987	風連町新生活運動推進会議設立
9. 2		風連中学校に教育用コンピューター導入（47台）
10. *		東地区ゲートボール場完成
11. 7		風連高等学校校舎改築落成記念式典
12. *		風連町就学指導委員会設立
63. 5. *	1988	東地区運動広場にテニスコートオープン
6. *		風連町教育委員会で42人乗り中型バス導入
8. *		初の外国人英語指導助手を招致
平成元. 5. *	1989	B & G 風連海洋クラブ設立
6. *		B & G 財団風連海洋センター竣工式（7月からオープン）
2. 2. *	1990	B & G 財団風連海洋センタープール完成
4. *		風連町歴史民俗資料館開館
6. *		風連高等学校教育振興協議会設立
8. *		風連町・東京都港区中学生の初の自然体験交流会
10. *		風連中央小学校開校20周年記念を祝う集い
3. 8. 24	1991	西風連小学校開校80周年記念式典
9. *		風連高等学校が4年度公立高校適正化配置計画（原案）で条件付き学級減対象校となる
12. *		初の杉並区・風連町子ども交流会
4. 1. *	1992	風連町若妻会創立30周年記念式典
2. 27		「風連町瑞生大学校歌」制定
6. *		B & G 財団風連海洋センターが同財団から町に譲渡
10. *		風連町スポーツ少年団本部設立20周年記念式典
		日独青少年指導者セミナー（ドイツから11人来町）
5. 2. 10	1993	下多寄小学校校舎完成
		下多寄小学校コミュニティスクール開設
5. 1		小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
6. 27		下多寄小学校校舎改築落成並びに開校90周年記念式典
6. 2. *	1994	東京都港区交流の「風港会」設立
		風連町サンシャインホール完成
		カンガルーのポケット事業の実施
7. *		日進小中学校に屋根付プール完成
		風の顔らんどふうれん北海道運営委員会設立
12. 5		風連幼稚園新園舎完成
7. 3. 31	1995	西風連小学校閉校（下多寄小学校に統合）

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成 7. 9. *	1995	旧旭小学校記念碑建立除幕式
8. 4. *	1996	風連町青年会設立
8. *		風連高等学校1年生が初の海外研修（オーストラリア） 風連町教育委員会に新型バス導入
8.10. *	1996	風連町体育協会創立30周年記念式典
9. 9.20	1997	風連中学校開校50周年記念式典
10. 4. 1	1998	風連高等学校が道内初の英語標記の教育目標「EMOTION&POWER（感動と力）」施行
4. 1		風連町児童クラブの設置
4.22		杉並区より移動図書館車「たびびと君」を寄贈
11. *. *	1999	教育用コンピューター導入（風連中央小学校）
5. 1		公民館そよかぜ事業の実施
9. *		東風連小学校開校90周年記念式典
12. *		「風連町の石碑と史跡」発行
12. 4. 1	2000	小学校英会話活動推進モデル事業の実施
7. 1		学校評議員制度導入（風連中央小学校・風連中学校）
10.27		福祉センター増築（研修室）
13. *. *	2001	東地区運動広場パークゴルフ場オープン
3. 7		風連町瑞生大学創立30周年記念式典
5.16		心の教室相談員の配置（風連中学校）
5.30		スポーツエキスパート事業の実施（風連中学校）2年間
6.24		下多寄小学校開校100周年記念式典
9. 8		風連高等学校創立50周年記念式典
14. *. *	2002	教育用コンピューター導入（日進中学校）
3.31		小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
4. 1		教育相談員の配置
4. 1		文部科学省学力向上フロンティア事業指定校（風連中学校）
5. 2		民間指導者派遣事業の実施
9. 1		風連町地域教育推進協議会の設置
9. 1		風連町体験活動ボランティア活動支援センターの設置
9. 1		ふうれんっ子ひろばの実施
11. 8		小学校道徳非常勤講師配置事業の実施
15. *. *	2003	教育用コンピューター導入（下多寄小学校・東風連小学校）
4. 1		ブックスタート事業の実施
4.26		風連スポーツクラブ「ボポ」の設立
5. 1		文化部活動外部指導者派遣事業の実施（風連中学校吹奏楽部）2年間
10.25		風連幼稚園設立50周年記念式典
16. 3. *	2004	「ふうれんちょうのはし」発行
17. *. *	2005	教育用コンピューター導入（日進小学校）
4. 1		風連町子ども教室の実施
5.24		教育相談支援事業の実施（風連中学校）

iv. 名寄市教育の沿革

年 代	西暦	特 記 事 項
平成18. 3. 27	2006	風連町と名寄市が合併し新名寄市誕生
4. 1		体育施設の指定管理者制度導入
4. 7		名寄市立大学開学
11. 11		「北海道立サンピラーパーク」開園 カーリング場オープン（日進、5シート）
12. 1		図書館電算システム運用開始
19. 3. 1	2007	名寄光凌高等学校普通科閉科
3. 31		西プール閉鎖
4. 1		給食センター統合
4. 24		全国学力・学習状況調査実施
5. 19		市営南水泳プール改築・オープン
8. 7		移動図書館「やまゆり号」更新
8. 18		日進小学校開校100周年・中学校開校60周年記念式典
20. 3. *	2008	風連高等学校募集停止
4. *		学校職員評価制度導入
4. 1		学校栄養教諭配置（名寄小、風連中央小）
6. 24		名寄市小学校陸上大会閉幕
6. *		北海道体力・運動能力調査実施
21. 3. 24	2009	名寄光凌高等学校閉校
3. *		名寄農業高等学校募集停止
4. 9		名寄産業高等学校開校
7. 4		名寄西小学校開校50周年記念「ふれあい」の集い
7. 23		「九度山 クトゥンヌプリ」国・名勝指定
8. 23		東風連小学校開校100周年記念式典・祝賀会
9. 23		名寄大谷幼稚園創立50周年記念祝賀会
10. 4		名寄西小学校開校50周年式典
10. 27		名寄ピヤシリ大学開学30周年記念式典
11. 29		名寄市立木原天文台閉館・名寄市プラネタリウム館閉館
22. 3. 31	2010	風連高等学校閉校
4. 12		ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」オープン
4. 17		なよろ市立天文台「きたすばる」オープン
10. 21		キマロキ編成JR「準鉄道記念物」指定
11. 3		名寄市立大学創立4周年・短期大学部創立50周年記念式典
12. 16		風連中学校「校舎移転開校式」
12. 18		名寄農業高校閉校記念式典
23. 1. 11	2011	名寄東小学校屋内運動場改築
4. 29		なよろ市立天文台「きたすばる」グランドオープン